

科目名	イギリス文学講読Ⅰ British LiteratureⅠ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	英米文学作品を原書のまま読み、鑑賞する能力を養います。非常に多くの人々に読まれているイギリスの作家であるLewis Carroll（ルイス・キャロル）の作品であるAlice's Adventures in Wonderland（『不思議の国のアリス』）を読むことにより、英語圏の人々と共通の文化的知識を身につけ、英語圏の人々とのコミュニケーションに間接的に役立てられるようにします。		
授業概要	少し長めの文学作品を丁寧に読んでいくことを通じて、イギリス文学作品を原書で鑑賞する力を身につけます。取り上げる作品は、Lewis CarrollのAlice's Adventures in Wonderlandです。初回の授業では、作者について、作品について解説された資料を読み、本作品の背景に対する理解を深めます。2回目以降は1回につき1チャプター（約10ページ）を、事前に配布したワークシートを行う形で読み進めていきます。		
授業計画	① ガイダンス・イントロダクション(作者・作品について) ② Chapter 1 ③ Chapter 2 ④ Chapter 3 ⑤ Chapter 4 ⑥ Chapter 5 ⑦ Chapter 6 ⑧ Chapter 7 ⑨ Chapter 8 ⑩ Chapter 9 ⑪ Chapter 10 ⑫ Chapter 11 ⑬ Chapter 12 ⑭ 様々な『不思議の国のアリス』について ⑮ まとめ・期末レポートについて		
予復習等	【予習】 授業範囲のテキストを読み、配布されたワークシートを埋めておくこと 【復習】 授業で読み進めたChapterを改めて読み直しておくこと		
評価方法	授業姿勢（30%）、期末レポート（70%）		
履修条件	なし。		
教科書	『Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking Glass and What Alice Found There』／著：Lewis Carroll／出版：Oxford University Press		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	イギリス文学講読Ⅱ British LiteratureⅡ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	この授業を通して到達すべき目標は3つあります。1つ目は、英米文学作品を原書のまま読み、鑑賞する能力を養うことです。2つ目は、多くの人々に読まれている作品を読むことにより、英語圏の人々と共通の文化的知識を身につけ、コミュニケーションに間接的に役立てられるようにすることです。3つ目は、文学作品の多様な読み方、解釈を試みることにより、複数の視点から物事を眺める力を身につけることです。		
授業概要	イギリスを代表する劇作家であるWilliam Shakespeareの作品をいくつか取り上げ、講読します。メインのテキストとして、子供向けに書かれたCharles LambとMary Lambによる再話物語Tales from Shakespeareを使います。今回取り上げる作品は、Romeo and JulietとThe Merchant of Veniceです。テキストを読み進めると同時に、原作からの抜粋や映像作品の鑑賞を通して作品に対する理解を深めるとともに、様々な視点からの作品解釈、作品表象のあり方を考察します。		
授業計画	① ガイダンス・イントロダクション(シェイクスピアとその作品について) ② Romeo and Juliet (1) ③ Romeo and Juliet (2) ④ Romeo and Juliet (3) ⑤ Romeo and Juliet (4) ⑥ Romeo and Juliet (5) ⑦ Romeo and Juliet (6) ⑧ Romeo and Juliet (7) ⑨ The Merchant of Venice (1) ⑩ The Merchant of Venice (2) ⑪ The Merchant of Venice (3) ⑫ The Merchant of Venice (4) ⑬ The Merchant of Venice (5) ⑭ The Merchant of Venice (6) ⑮ The Merchant of Venice (7)		
予復習等	【予習】 指定された範囲の英文を読み、予習用ワークシートを埋めてくること 【復習】 授業で読み進めた箇所をもう一度読んで理解を深めておくこと		
評価方法	授業姿勢（20%）、中間レポート（30%）、期末レポート（50%）		
履修条件	なし。		
教科書	『Tales from Shakespeare』／著：Charles and Mary Lamb／出版：Penguin Classics		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	アメリカ文学講読Ⅰ American Literature Ⅰ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	古東 佐知子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	この授業は、学生がアメリカ文学を学ぶことで、英語の読解力を向上させるのはもちろんのこと、英語が使用される、特にアメリカという場所の文化・歴史背景についても理解できるようになることが目標である。「アメリカ文学講読Ⅰ」では、あまり今までの学びで馴染みがないアメリカ文学というものに触れることで、その奥深さについて考えられるようになることも、目的の一つである。		
授業概要	ビューリタニズムを題材にしたNathaniel Hawthorne, The Scarlet Letter (1850)と、中国系移民の母娘を描いた現代小説Amy Tan, The Joy Luck Club (1989)作品を取りあげる。アメリカ文学の主要作品である2作品の重要箇所を精読することによって、単なる作品の鑑賞にとどまらず、歴史的背景や社会的価値、どのような問題意識で、どのようなテーマが提示されているのかも理解する。またアメリカ文学の主要な作家・文学作品について、グループ発表を行う。		
授業計画	① ガイダンス ② アメリカ文学概観・グループ分け ③ The Scarlet Letter ビデオ鑑賞 ④ The Scarlet Letter 講義・解説 ⑤ The Scarlet Letter 作品講読（1） ⑥ The Scarlet Letter 作品講読（2） ⑦ The Scarlet Letter 作品講読（3） ⑧ The Scarlet Letter 議論・まとめ ⑨ 主要文学作品・作家についてのグループ発表 ⑩ The Joy Luck Club ビデオ鑑賞 ⑪ The Joy Luck Clubとアジア系アメリカ人の文学講義・解説 ⑫ The Joy Luck Club 作品講読（1） ⑬ The Joy Luck Club 作品講読（2） ⑭ The Joy Luck Club 作品講読（3） ⑮ The Joy Luck Club 作品についての議論・解釈 ⑯ 期末レポート		
予復習等	【予習】あらかじめ指定された箇所を読み、宿題プリントを完成させる。 【復習】授業で扱った箇所を再読し、自分なりに考察・解釈する。		
評価方法	期末レポート50% グループ発表20% 課題・授業発表30%		
履修条件	なし		
教科書	井上謙治著『AN OUTLINE OF AMERICAN LITERATURE アメリカ文学概観』南雲堂		
参考書	授業中に指定する。		

科目名	アメリカ文学講読Ⅱ American Literature Ⅱ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	古東 佐知子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	「アメリカ文学講読Ⅰ」と同様に、英語の文学作品を読解することで、英語の読解力を向上させるのはもちろんのこと、その文化・歴史背景も理解できるようにする。この授業では、アメリカ文学の主要テーマの一つ「人種」に焦点を当てて、講義をすすめていく。「アメリカ文学講読Ⅱ」では、より高度にアメリカ文学の背景について考察できるようになることが目標である。また自らの意見を英語で説明できるようになるため、最終の期末レポートは英語で書いたものを提出する。		
授業概要	奴隷制を題材にしたMark Twain, The Adventures of Huckleberry Finn (1885)と、アフリカ系アメリカ人の文学の代表作Richard Wright, Native Son (1940)を取りあげる。これらの作品を講読することにより、アメリカ文学の主題である「人種の問題」や当時の社会背景、ステレオタイプを克服することの困難さについて考察する。また、単に「物語」を楽しむだけではなく、作品を通してアメリカの世界について触れ、色々な観点から深く物事を捉えられるようにする。		
授業計画	① ガイダンス ② アメリカ文学概観・後半 ③ Huckleberry Finn ビデオ鑑賞 ④ Huckleberry Finnと奴隷制について講義・解説 ⑤ Huckleberry Finn 作品講読（1） ⑥ Huckleberry Finn 作品講読（2） ⑦ Huckleberry Finn 作品講読（3） ⑧ Huckleberry Finn 作品講読（4） ⑨ Huckleberry Finn についての議論・解釈 ⑩ Native Son と黒人作家に関する講義・解説 ⑪ Native Son ビデオ鑑賞 ⑫ Native Son 作品講読（1） ⑬ Native Son 作品講読（2） ⑭ Native Son 作品講読（3） ⑮ Native Son についての議論・解釈 ⑯ 期末レポート		
予復習等	【予習】あらかじめ指定された箇所を読み、宿題プリントを完成させる。 【復習】授業で扱った箇所を再読し、自分なりに考察・解釈する。		
評価方法	期末レポート50% 課題・授業発表50%		
履修条件	なし		
教科書	井上謙治著『AN OUTLINE OF AMERICAN LITERATURE アメリカ文学概観』南雲堂		
参考書	授業中に指定する。		

科目名	アカデミック・イングリッシュ I Academic English I	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	The goal of this course is to help students improve their ability to write paragraphs in English. By examining various types of paragraphs written in English, students will learn how to create paragraphs that are well organized and effective for communicating ideas. Students will also develop necessary editing skills for checking and correcting their compositions.		
授業概要	The course will start with the basics of good paragraph writing (according to Western modes of composition). These skills include learning how to write effective topic sentences and create unified paragraphs that have coherent support. Students will practice these composition skills by writing paragraphs about various topics. In addition, grammar and vocabulary exercises will be done in order to help students improve their overall English ability.		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① Course orientation ② Paragraph form ③ Editing your writing ④ The writing process ⑤ Narrative paragraphs (Part 1) ⑥ Narrative paragraphs (Part 2) ⑦ Narrative paragraphs (Part 3) ⑧ Editing skills ⑨ Descriptive paragraphs (Part 1) ⑩ Descriptive paragraphs (Part 2) ⑪ Descriptive paragraphs (Part 3) ⑫ Analyzing reasons (Part 1) ⑬ Analyzing reasons (Part 2) ⑭ Analyzing reasons (Part 3) ⑮ Review ⑯ Exam 		
予復習等	【予習】 Study the textbook before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.		
評価方法	出席状況 30%、提出物・宿題 40%、小テスト・定期試験 30%		
履修条件			
教科書	Developing Composition Skills: Academic Writing and Grammar (3E). Mary K. Ruetten, Heinle Cengage. 2012.		
参考書	和英・英和辞書を持参すること。		

科目名	アカデミック・イングリッシュ II Academic English II	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	Paragraph writing will continue to be the main focus of the beginning of the second semester course. Towards the end of the second semester, students will begin learning about how to write short essays. By examining various types of paragraphs written in English, students will learn how to create paragraphs that are well organized and effective for communicating ideas. Students will also develop necessary editing skills for checking and correcting their compositions.		
授業概要	The course will start with the basics of good paragraph writing (according to Western modes of composition). These skills include learning how to write effective topic sentences and create unified paragraphs that have coherent support. Students will practice these composition skills by writing paragraphs about various topics. In addition, grammar and vocabulary exercises will be done in order to help students improve their overall English ability.		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① Process paragraphs (Part 1) ② Process paragraphs (Part 2) ③ Process paragraphs (Part 3) ④ Editing skills ⑤ Comparison and contrast paragraphs (Part 1) ⑥ Comparison and contrast paragraphs (Part 2) ⑦ Comparison and contrast paragraphs (Part 3) ⑧ Editing skills ⑨ Classification paragraphs (Part 1) ⑩ Classification paragraphs (Part 2) ⑪ Classification paragraphs (Part 3) ⑫ Introduction to essay writing (Part 1) ⑬ Introduction to essay writing (Part 2) ⑭ Introduction to essay writing (Part 3) ⑮ Review ⑯ Exam 		
予復習等	【予習】 Study the textbook before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.		
評価方法	出席状況 30%、提出物・宿題 40%、小テスト・定期試験 30%		
履修条件			
教科書	Developing Composition Skills: Academic Writing and Grammar (3E). Mary K. Ruetten, Heinle Cengage. 2012.		
参考書	和英・英和辞書を持参すること。		

科目名	イギリス文学史 History of British Literature	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	講義
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	古英語時代～現代にいたるイギリス文学の歴史を概観することによって、イギリス文学を研究する上で最低限知っておくべき知識を得ることを目的とします。現代も広く読まれている作家とその作品についての知識を得ることにより、英語圏（特にイギリス）の人々と共通の文化的な知識を身につけ、コミュニケーションを取る際に間接的に役立てられるようにします。		
授業概要	上の到達目標を達成すべく、この授業では古英語の時代から現代に至るまでのイギリス文学の歴史を概観する。授業では、各時代の時代背景や代表的な作家の作品とその特徴などについての講義を行う。時間の許す限り、実際に文学作品の抜粋を読みながら具体的な形で知識を身につけていく。進めていく。また、授業外の課題として、3冊以上の文学作品を読み、その概要などをBook Reportとしてまとめて提出することを課す。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス・「文学（史）」とは何か ② 古英語～中英語時代のイギリス文学 ③ 16世紀のイギリス文学（詩・散文） ④ 16世紀～17世紀初頭のイギリス文学（演劇） ⑤ 17世紀初頭のイギリス文学（演劇、詩） ⑥ 17世紀半ば～18世紀初頭のイギリス文学（詩） ⑦ 18世紀半ば～19世紀初頭のイギリス文学（詩・小説） ⑧ 18世紀後半～19世紀初頭のイギリス文学（ロマン主義） ⑨ 19世紀前半のイギリス文学（ロマン主義②） ⑩ 19世紀半ば～19世紀後半のイギリス文学（詩） ⑪ 19世紀半ば～19世紀後半のイギリス文学（小説） ⑫ 19世紀末～20世紀初頭のイギリス文学（小説） ⑬ 20世紀前半のイギリス文学（小説） ⑭ 20世紀半ば～現代のイギリス文学 ⑮ まとめ 		
予復習等	【予習】 授業で扱う章（教科書）に目を通してから授業に臨むこと 【復習】 授業で触れた時代・作家について、文学史の本などを読むこと		
評価方法	授業姿勢（20%）、課題（20%）、Book Report（60%）		
履修条件	なし。		
教科書	『An Outline of English Literature』／著：相島倫嘉／出版：南雲堂		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	イギリス文化論 British Studies	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	講義
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	イギリス文化の様々な側面を学び、イギリスのことを研究する上で必要な最低限の知識を得ることを目的とします。イギリス文化という異文化理解を深めることを通じて、異文化を排除しようとするのではなく、異文化を積極的に、肯定的に受け入れる姿勢を身につけます。また、イギリスの人々の我々とは異なる価値観や考え方を学び、国際的な視野を持った人間になることを目標とします。		
授業概要	イギリス社会、イギリス文化を概観します。毎回の授業では、キーとなるトピックを一つ取り上げ、該当する箇所の講義を行います。扱うトピックは、「政治・宗教・教育」など以下の授業計画に記載されているトピックです。予習を前提として授業を進めていきますので、指定された箇所をあらかじめ読んでおくことが求められます。また、各週で話題になっているイギリスに関するニュースなどにも触れ、現在のイギリスをめぐる状況を理解していきます。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス／イギリスについて ② 王室について ③ 政治について ④ 宗教について ⑤ 初等・中等教育について ⑥ 高等教育について ⑦ ジャーナリズムについて ⑧ 大英博物館について ⑨ シェイクスピアについて ⑩ 児童文学について ⑪ 音楽について ⑫ 食生活について ⑬ スポーツについて ⑭ 世界におけるイギリスについて ⑮ まとめ 		
予復習等	【予習】 授業で扱う章を事前に読み、配布したプリントの穴埋めをしていくこと 【復習】 参考文献などを読み、授業の内容に関する理解を深めておくこと		
評価方法	授業姿勢（30%）、期末レポート（70%）		
履修条件	なし。		
教科書	『On Britain: An Introduction』／著：Adrian J. Pinnington／出版：開文社		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	英語学概論 I	単位数	2
	English Linguistics I	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	講義
担当者	梅澤 敏郎	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	英語学は、英語を対象とした言語学のことで、英語を幅広く言語として捉える学問である。学生は、英語という言語を人類が生んだ体系的知識として捉え、その用語の習得により、能率的にこの学問の現代や過去の知見を身につけることを目的とする。学生は、英語の背後に潜んでいる様々な規則性や歴史を見つけ出し、英語の仕組みを明らかにし、英語学という幅広い学問研究分野の入り口に立つ所に到達する。		
授業概要	英語学が、英語を教える立場に立つ人や学ぶ人にとって、役に立つ知識・理論を提供してくれる学問であるということを、各項目に応じて、できる限り具体的に示して講義して行きたい。本概論では、英語学の各分野の中で、以下の項目について概説する。説明にあたっては、具象事例に触れながら、抽象的理論を少しでも覚えやすいように配慮するつもりである。英語学の専門的学力習得を目指す人は勿論、幅広い教養を育みたい人も、この講義で触れるミニマム・エッセンシャルズ的内容に関しては、絶えず柔軟に考え、理解し、覚える努力を行うよう、注意を払って欲しい。講義は、教科書の他、ハンドアウト（プリント）、板書も加えて、考える習慣が身に付くよう、説明を主体に行っていく。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 英語学の各分野の紹介（英語史の詳細は後期） ③ 国際語としての英語 ④ 英語の文構造（1）の（1）・伝統文法（1）・構造主義 ⑤ 英語の文構造（1）の（2）・伝統文法（2） ⑥ 英語の文構造（2）の（1）・生成文法（1） ⑦ 英語の文構造（2）の（2）・生成文法（2） ⑧ 英語の文構造（2）の（3）・生成文法（3） ⑨ 英語の音構造・音声学・音韻論 ⑩ 英語の語構造（1）・形態論 ⑪ 英語の語構造（2）・語形成 ⑫ 英語の文構造（3）・意味役割 ⑬ 英語の意味構造（1）・意味論 ⑭ 英語の意味構造（2）・語用論 ⑮ まとめ ⑯ 定期試験 		
予復習等	【予習】 次回の授業で進む予定の教科書の該当ページを事前に読み、疑問点をしておくこと。 【復習】 今回の授業で学習した教科書・ハンドアウト・ノートの該当ページを読み返し、疑問点を質問できるようにしておくこと。		
評価方法	試験100%。ただし、欠席5回以下と教員の指導に従うことは最低条件。		
履修条件	英語学研究Ⅰ（ゼミ）を選択する学生は、本英語学概論Ⅰも選択すること。英語学ゼミ生以外の学生も不利にはならない。		
教科書	『現代の英語学』 金星堂		
参考書	初回の講義で指示する。		

科目名	英語学概論Ⅱ	単位数	2
	English Linguistics II	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	講義
担当者	梅澤 敏郎	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	英語学は、英語を対象とした言語学のことで、英語を幅広く言語として捉える学問である。学生は、英語という言語を人類が生んだ体系的知識として捉え、その用語の習得により、能率的にこの学問の現代や過去の知見を身につけることを目的とする。学生は、英語の背後に潜んでいる様々な規則性や歴史を見つけ出し、英語の仕組みを明らかにし、英語学という幅広い学問研究分野の入り口に立つ所に到達する。		
授業概要	英語学が、英語を教える立場に立つ人や学ぶ人にとって、役に立つ知識・理論を提供してくれる学問であるということを、各項目に応じて、できる限り具体的に示して講義して行きたい。本概論では、英語学の各分野の中で、以下の項目（特に英語史）について概説する。説明にあたっては、できるだけ具体的事例に触れながら、少しでも覚えやすいように配慮するつもりであるが、英語学の専門的学力習得を目指す人は勿論、幅広い教養を育みたい人も、この講義で触れるミニマム・エッセンシャルズ的内容に関しては、絶えず柔軟に考え、理解し、覚える努力を行うよう、注意を払ってほしい。講義は、教科書の他、ハンドアウト（プリント）、板書も加えて、考える習慣が身に付くよう、説明を主体に行っていく。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① ガイダンス、前期の未消化部分の説明 ② アメリカ英語 ③ これからの英語 ④ 英語の歴史（1）、インド・ヨーロッパ語族 ⑤ 古英語の成立 ⑥ 古英語の文法 ⑦ 古英語の読解（1） ⑧ 古英語の読解（2） ⑨ 中英語の成立 ⑩ 中英語の文法 ⑪ 中英語の読解 ⑫ 英語の歴史（2）、近代英語の成立 ⑬ 近代英語の文法、大母音推移 ⑭ 初期近代英語の読解 ⑮ まとめ ⑯ 定期試験 		
予復習等	【予習】 次回の授業で進む予定の教科書・ハンドアウトの該当ページを事前に読み、疑問点があれば記しておくこと。【復習】 今回の授業で学習した教科書・ハンドアウト・ノートの該当ページを読み返し、疑問点があれば質問できるようにしておくこと。		
評価方法	試験100%。ただし、欠席5回以下と教員の指導に従うことは最低条件。		
履修条件	英語学研究Ⅱ（ゼミ）を選択する学生は、本英語学概論Ⅱも選択すること。英語学概論Ⅰを受講していない学生も本講義を受講してもよいし不利にならない。英語学ゼミ生以外の学生も不利にはならない。		
教科書	『現代の英語学』 金星堂		
参考書	初回の講義で指示する。		

科目名	英語コミュニケーション論 I Communication Studies I	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	講義
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>(1) われわれ人間が、他人の言うことを聞いてその話し手が伝えたいことを思っている「意味」を理解できるのは「なぜ」かという「コミュニケーションの仕組み」を探れるように、発見力・思考力・創造力を鍛える。</p> <p>(2) 英語コミュニケーションの仕組みを理解し駆使できるようになることで、英語力を向上させる。</p>		
授業概要	<p>(1) 「英語コミュニケーションの仕組み」について探る。例えば、It's cold. という発話は、文字通りは「寒い」という意味であるが、あるコンテキスト（話し手が、寒い部屋にいて窓が開いている）では、「窓を閉めてください」という意味になるが、それは「なぜ」なのかを説明できるよう仕組みを理解する。</p> <p>(2) 英語学の意味論・語用論を基礎として英語コミュニケーション論を講義し、英語学の基礎力を養う。</p> <p>(3) 英語力向上のために、英語コミュニケーションの仕組みを理解し駆使できるよう指導する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 動物にはない人間のコミュニケーションの刺激独立性・超越性・無限性 ③ コミュニケーションのコードと推論の役割 ④ 文の意味と発話の意味 ⑤ コンテキストの本質と役割 ⑥ コミュニケーションと認知 ⑦ 会話的含意の特性 ⑧ 概念とカテゴリー化 ⑨ メタファーとメトニミー ⑩ 直示表現と前提 ⑪ 発話行為（1） ⑫ 発話行為（2） ⑬ ポライトネス（1） ⑭ ポライトネス（2） ⑮ 関連性の原理 ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。課題を解いておく。</p> <p>【復習】質問などで理解したことをまとめ、予習した課題を自己添削する。 ・以上の過程を毎回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質問など)・レポート・小テスト)40%、定期試験60%		
履修条件	なし。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	なし。プリントを配布する。		
参考書	授業の中で指定する。		

科目名	英語コミュニケーション論 II Communication Studies II	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	講義
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>(1) われわれ人間が、他人の言うことを聞いてその話し手が伝えたいことを思っている「意味」を理解できるのは「なぜ」かという「コミュニケーションの仕組み」を探れるように、発見力・思考力・創造力を鍛える。(2) 英米小説の読解から、英語（コミュニケーション）の仕組み(文法)を発見し駆使、さらに自ら理論構築できるようになることで英語の力をつける。</p>		
授業概要	<p>(1) 前期で講義した「英語コミュニケーションの仕組み」を実際に、さらに体系的に正確に応用できるように、指導する。(2) 英語学の意味論・語用論を基礎として英語コミュニケーション論を講義し、英語学の基礎力を養う(3) 英語力向上のために、英語コミュニケーションの仕組みを理解し駆使できるよう指導する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 会話的含意（応用） ③ メタファー（応用） ④ メトニミー（応用） ⑤ 代用表現（応用） ⑥ 省略（応用） ⑦ 情報構造（1）（応用） ⑧ 情報構造（2）（応用） ⑨ 発話行為（1）（応用） ⑩ 発話行為（2）（応用） ⑪ ポライトネス（1）（応用） ⑫ ポライトネス（2）（応用） ⑬ 関連性の原理（1）（応用） ⑭ 関連性の原理（2）（応用） ⑮ まとめ ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。課題を解いておく。</p> <p>【復習】質問などで理解したことをまとめ、予習した課題を自己添削する。 ・以上の過程を毎回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質問など)・レポート・小テスト)40%、定期試験60%		
履修条件	なし。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	なし。プリントを配布する。		
参考書	授業の中で指定する。		

科目名	英語レトリック概論 Rhetorical Theory	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	講義
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>教科書の講読を通じて、この授業は以下の2点を目標とします。</p> <p>(1) レトリックの技法についての基本的な知識得ること</p> <p>(2) その上で、レトリックの技法を意識し、活用しながら、コミュニケーションの様々な場面で効果的に相手の同意を得たり、相手を説得することができるようになること</p>		
授業概要	<p>1回の授業でテキスト(Jay Heinrichs著、Thank you for Arguing: What Aristotle, Lincoln, and Homer Simpson Can Teach Us About the Art of Persuasion)の1章分を細かく読み進めていきます。今回の授業では、第1章～第13章を読み進めていきます。その後、各章で解説されている技法を使う場面を想定したシミュレーションを行い、コミュニケーションをとる練習を行います。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 1. Open Your Eyes: The Invisilbe Argument ③ 2. Set Your Goals: Cicero's Lightbulb ④ 3. Control the Tense: Orphan Annie's Law ⑤ 4. Soften Them Up: Character, Logic, Emotion ⑥ 5. Get Them to Like You: Eminem's Rules of Decorum ⑦ 6. Make Them Listen: The Lincoln Gambit ⑧ 7. Use Your Craft: The Beluahi Paradigm ⑨ 8. Show You Care: Quintilian's Useful Doubt ⑩ 9. Control the Mood: The Aquinas Manuver ⑪ 10. Turn the Volume Down: The Scientist's Lie ⑫ 11. Gain the High Ground: Aristotle's Favorite Topic ⑬ 12. Persuade on Your Terms: What "Is" is ⑭ 13. Control the Argument: Homer Simpson's Canons of Logic ⑮ まとめ ⑯ 期末試験 		
予復習等	<p>【予習】各回の授業で扱う章を読み、わからない部分を明確しておくこと</p> <p>【復習】(1) 授業で扱った章をもう一度読み、内容理解を深めること</p> <p>(2) 授業で学んだ技法を用いて議論、説得する状況をシミュレーションすること</p>		
評価方法	授業姿勢（30%）、期末試験（70%）		
履修条件	なし。		
教科書	『Thank you for Arguing: What Aristotle, Lincoln, and Homer Simpson Can Teach Us About the Art of Persuasion』／著：Jay Heinrichs／出版：Penguin Books		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	現代アメリカ事情 Contemporary American Studies	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	講義
担当者	古東 佐知子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>現代のアメリカを理解するために、アメリカの文化事情を取りあげながら、「表面的なアメリカ」ではなく、その裏にある文化背景やアメリカの思想について理解できるようにする。そうすることにより、単に英語力をつけるだけにとどまらず、幅広く深い教養も身に付け、アメリカや英語圏世界のことを理解できるようになることが目標である。</p>		
授業概要	<p>アメリカの映画やドキュメンタリー、最新のニュース映像などを通して、現代のアメリカが抱える問題や社会事情を垣間見る。具体的には公民権運動、黒人たちの文化運動、アメリカの女性運動などに関する映像、書物などを取りあげ、その裏にある文化背景やアメリカの根底にある思想について考える。また、出来るだけ『現代のアメリカ』に触れられるよう、ニュースや映画、歴史的資料など加工されていない生きた英語を読解する力も付ける。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 9. 11 テロとアメリカ ③ アメリカの地域性と地域文学 ④ アメリカの移民とNew Yorkの変遷 ⑤ 大統領選挙—黒人大統領の誕生 ⑥ 都市のゲットー、ギャング映画、黒人民族主義 ⑦ アメリカの女性運動 ⑧ Jazzの時代の黒人文化 ⑨ 公民権運動とその余波 ⑩ ディアスポラについて ⑪ 日本とアメリカ アメリカ側から ⑫ 日本とアメリカ 日本側から ⑬ アメリカ黒人女性と表象の問題について ⑭ グローバル化の中のアメリカ ⑮ まとめ ⑯ レポート提出 		
予復習等	<p>【予習】授業で配布された資料の指定された箇所の英語を読んで解釈する。</p> <p>【復習】授業後、3回ごとに英語の小レポートを提出するので、その下書き等準備をしておく。</p>		
評価方法	レポート50%	小テスト30%	授業参加20%
履修条件	なし		
教科書	なし		
参考書	授業中に指定する。		

科目名	英語教育学概論	単位数	2
	English Language and Education Studies	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	講義
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>本概論では、第二言語習得研究や英語教育学分野の諸議論を概観し、外国語の習得についての理解を深めるとともに、自らの英語学習へ応用できる力を養うことを目的とする。到達目標は以下である。</p> <p>1) 英語教育に関する現代的な諸議論を理解し、自ら論理的・批判的に考えることができる。</p> <p>2) 自分の意見を英語で表明し、議論する力をつける。</p> <p>3) 日本人としてどのように英語に向き合うべきなのか考察し、主体的に英語学習に向き合うことができる。</p>		
授業概要	<p>本概論では、第二言語習得研究や英語教育学分野の諸議論を概観し、外国語の習得についての理解を深めるとともに、一般的な言語習得に関する諸言説を批判的に考察する。授業では、英語教育に関連したテーマでの英語ディベートや、受講生による模擬授業等を行うなど、実践的に展開する。ディベートのテーマは、最近の英語教育改革に基づき、小学校英語教育の拡大についてと、大学入試民間4技能試験についてとする。また、同テーマでの英文エッセイ・ライティングを課題として課す。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス・日本人と英語 ② 母語の影響と言語習得 ③ 年齢と言語習得 ④ 動機づけと言語習得 ⑤ 学習者要因と言語習得 ⑥ ディベート1：小学校英語教育について ⑦ パイリンガルについて ⑧ 日本の学校英語教育 ⑨ グローバル化と世界の英語政策 ⑩ ディベート2：大学入試英語4技能試験について ⑪ さまざまな教授法1 ⑫ さまざまな教授法2 ⑬ 模擬授業準備 ⑭ 受講生による模擬授業1 ⑮ 受講生による模擬授業2 ⑯ 期末試験 		
予復習等	<p>【予習】ディベートのテーマについて、新聞・本などで調査する。模擬授業の準備をする。</p> <p>【復習】ディベートのテーマについて、レポートを仕上げる。</p>		
評価方法	出席状況・授業態度 30%、英語ディベート30%、模擬授業15%、期末試験25%		
履修条件	学修規程による。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	資料を配布する		
参考書	『学校英語教育は何のため？』 江利川春雄ほか、ひつじ書房		

科目名	英語コミュニケーション研究Ⅰ	単位数	2
	Seminar in Communication StudiesⅠ	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>（1）われわれ人間が、他人の言うことを聞いてその話し手が伝えたいことを思っている「意味」を理解できるのは「なぜ」かという「コミュニケーションの仕組み」を探れるように、発見力・思考力・創造力を鍛える。</p> <p>（2）英語（コミュニケーション）の仕組み（文法）を発見し駆使できるようになることで、英語力を向上させる。</p>		
授業概要	<p>（1）「英語（コミュニケーション）の仕組み」について探る。</p> <p>（2）英語学の意味論・語用論を基礎として英語コミュニケーションを考察し、英語学の基礎力を養う。</p> <p>（3）英語表現と意味との対応を扱う英語学の統語論の基礎を養う。</p> <p>（4）英語力向上のために、英語（コミュニケーション）の仕組み（文法）を発見し駆使できるよう指導する（例：Harry Potterなどを「意識」して読解することで、英語の仕組み（文法）を発見し応用できるようになり、英語学の理論構築の基礎となる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 専門文献の読解（1）Harry Potterなどの読解（1） ③ 専門文献の読解（2）Harry Potterなどの読解（2） ④ 専門文献の読解（3）Harry Potterなどの読解（3） ⑤ 専門文献の読解（4）Harry Potterなどの読解（4） ⑥ 文献研究（1）Harry Potterなどの読解（1） ⑦ 文献研究（2）Harry Potterなどの読解（2） ⑧ 文献研究（3）Harry Potterなどの読解（3） ⑨ 文献研究（4）Harry Potterなどの読解（4） ⑩ 文献研究（5）Harry Potterなどの読解（5） ⑪ 文献研究（6）Harry Potterなどの読解（6） ⑫ 文献研究（7）Harry Potterなどの読解（7） ⑬ 文献研究（8）Harry Potterなどの読解（8） ⑭ 卒論の構想発表（1） ⑮ 卒論の構想発表（2） ⑯ 卒論の構想発表（3） 		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。課題を解いておく。</p> <p>【復習】質問などで理解したことをまとめ、予習した課題を自己添削する。</p> <p>・以上の過程を毎回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	出席状況・授業態度 50%、課題など 50%		
履修条件	後期に「英語コミュニケーション研究Ⅱ」を履修すること。		
教科書	プリントなどを配布する。		
参考書	授業の中で指定する。		

科目名	英語コミュニケーション研究Ⅱ Seminar in Communication Studies Ⅱ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>（1） われわれ人間が、他人の言うことを聞いてその話し手が伝えたいことを思っている「意味」を理解できるのは「なぜ」かという「コミュニケーションの仕組み」を探れるように、発見力・思考力・創造力を鍛える。（2） 英米小説の読解から、英語（コミュニケーション）の仕組み（文法）を発見し駆使、さらに自ら理論構築できるようになることで英語の力をつける。</p>		
授業概要	<p>（1） 前期で探った「英語（コミュニケーション）の仕組み」についてさらに応用できるようにする。（2） 英語学の意味論・語用論を基礎として英語コミュニケーションを考察し、英語学の基礎力を養う。（3） 英語表現と意味との対応を扱う英語学の統語論の基礎を養う。（4） 英語力向上のために、英語（コミュニケーション）の仕組み（文法）を発見し駆使できるよう指導する（例：英米小説などを「意識」して読解することで、英語の仕組み（文法）を発見し応用できるようになり、英語学の理論構築の基礎となる。○本ゼミでは、理論と実際のバランスをとるために、理論の基礎を身につける（文献研究）と体得した理論を応用し、また、自ら理論を構築できる事実を発見する（英米小説の読解）を同時に行う。</p>		
授業計画	<p>① ガイダンス ② 文献研究（1） 英米小説の読解（1） ③ 文献研究（2） 英米小説の読解（2） ④ 文献研究（3） 英米小説の読解（3） ⑤ 文献研究（4） 英米小説の読解（4） ⑥ 文献研究（5） 英米小説の読解（5） ⑦ 文献研究（6） 英米小説の読解（6） ⑧ 文献研究（7） 英米小説の読解（7） ⑨ 文献研究（8） 英米小説の読解（8） ⑩ 文献研究（9） 英米小説の読解（9） ⑪ 文献研究（10） 英米小説の読解（10） ⑫ 文献研究（11） 英米小説の読解（11） ⑬ 文献研究（12） 英米小説の読解（12） ⑭ 卒論の構想発表（1） ⑮ 卒論の構想発表（2） ⑯ 卒論の構想発表（3）</p>		
予復習等	<p>【予習】 分からない所を明確にし質問ができるようにする。課題を解いておく。 【復習】 質問などで理解したことをまとめ、予習した課題を自己添削する。 ・ 以上の過程を毎回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	出席状況・授業態度 50%、課題など 50%		
履修条件			
教科書	プリントなどを配布する。		
参考書	授業の中で指定する。		

科目名	アメリカ文学研究Ⅰ Seminar in American Literature Ⅰ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	古東 佐知子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>英語・日本語で書かれた、文学や文化の批評を解釈することで、論理的でアカデミックな英語・日本語を理解できるようにする。また、文学・文化理論を理解することで、物事を表面だけでなく、その深さまで見ることが出来る見識・洞察力を身に付ける。現代社会と密接に関係するアメリカ文学・文化の理解を通して、異なる文化や考えを許容できる知性を養い、人間として成長することも大きな目標の一つである。</p>		
授業概要	<p>アメリカ文学や文化を対象とする批評を読解することによって、物事をクリティカルに捉え、考えを主張する力を養う。具体的に、ポストコロニアルや人種、文化に関する英語の文学批評をとりあげる。一見何気ないことが描かれているように見えるアメリカ文学においても、深く考えるとそこには様々な文化事象が横たわっていることを理解する。アメリカの小説をとりあげながら、参加者が独自の見解を論理的に展開できるようになることが目標である。</p>		
授業計画	<p>① ガイダンス ② 専門文献の読解（1） ③ 専門文献の読解（2） ④ 専門文献の読解（3） ⑤ 専門文献の読解（4） ⑥ 専門文献の読解（5） ⑦ 専門文献の読解（6） ⑧ 専門文献の読解（7） ⑨ 専門文献の読解（8） ⑩ アメリカ文学作品読解・批評（1） ⑪ アメリカ文学作品読解・批評（2） ⑫ アメリカ文学作品読解・批評（3） ⑬ 卒論準備・文献研究（1） ⑭ 卒論準備・文献研究（2） ⑮ 卒論準備・文献研究（3）</p>		
予復習等	<p>【予習】 毎回、指定された担当箇所についての解釈を発表する。 【復習】 授業で扱った文学理論について、自分なりの考察をまとめて提出する。</p>		
評価方法	課題・発表70% 授業参加30%		
履修条件	「アメリカ文学講読Ⅰ・Ⅱ」を履修していることが望ましい。「現代アメリカ事情」もあわせて受講すること。		
教科書	なし		
参考書	授業中に指定する。		

科目名	アメリカ文学研究Ⅱ Seminar in American Literature Ⅱ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	古東 佐知子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	アメリカ文学に関する卒業論文を作成することが最終目標である。卒業論文は英語で書くこととするが、英語で書くことにより、自らの考えを整理し、順序だてて説明することをより意識しながら、研究を進めていく。アメリカ文学・文化に関して、掘り下げたい問題を定め、それについて調査を進めていくことで、今まで気付かなかった思想・見識について触れ、また自らの考えを持ち主張できるようにする。		
授業概要	アメリカ文学・文化に関する卒論（英語）の作成に取り掛かる。初めに、英語論文の書き方を（引用の仕方、論理的な論文構成、フォーマットなど）を確認する。同時に、学生は夏休みから引き続き、アメリカ文学の小説など英語で書かれた書物を各自で読み進め、卒論での分析に備える。授業ではそれぞれのテーマに沿った論文や批評を選び、それについて自らの観点で発表をおこなう。集大成として完成させる卒業論文は、下書きをした後、個別指導をとおして内容を吟味する。修正をくり返した後、最終的な卒論を完成させる。提出後には卒論発表会を行い、研究内容を発表する。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 中間発表 ② 英語論文の書き方（1） ③ 英語論文の書き方（2） ④ 英語論文の書き方（3） ⑤ 英語論文の書き方（4） ⑥ 卒論経過報告・文献研究（1） ⑦ 卒論経過報告・文献研究（2） ⑧ 卒論経過報告・文献研究（3） ⑨ 卒論経過報告・文献研究（4） ⑩ 卒論経過報告・文献研究（5） ⑪ 卒論経過報告・文献研究（6） ⑫ 卒論添削（1） ⑬ 卒論添削（2） ⑭ 卒論添削（3） ⑮ 卒論提出・卒論発表会 		
予復習等	<p>【予習】授業で指定された箇所を発表できるよう準備する。卒論で扱う文学作品等を英語で読み進め、それに関する文献を調査し、卒業論文を作成する。</p> <p>【復習】卒業論文で添削された箇所を書き直し、修正する。また、1章ごとに作成した卒論を発表する。</p>		
評価方法	卒論70% 発表30%		
履修条件	前期に「アメリカ文学研究Ⅰ」を履修すること。		
教科書	なし		
参考書	授業中に指定する。		

科目名	イギリス文学研究Ⅰ Seminar in British Literature Ⅰ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	イギリス文学・文化に関する学術論文を書くために必須のリサーチスキルの習得を目指します。イギリス文学を研究するステップを踏んでいくことを通じて、社会に出て生きていく上で必須である、解決すべき問題点を自分の力で見つけ、解決し、それを分かりやすく論理的に、説得力を持って相手に伝える力の習得を目指していきます。また、英語を用いた地域活動も積極的に行い、岐阜の魅力を英語で語るができるようになることも目指します。		
授業概要	イギリス文学研究Ⅰ・Ⅱを通じて、リサーチを実践し、卒業論文を執筆していただきます。イギリス文学研究Ⅰでは論文のテーマ(イギリス文学・文化に関するものであれば何でも構いません)を決め、その内容の大まかなアウトラインを決定するとともに、文学研究に必須のリサーチスキルの習得を目指します。毎回の授業では、前半の時間を使い、卒業論文テーマとその内容を決めていくために必須のステップ(テーマの決め方、文献検索の仕方、学術論文の読み方、原稿の書き方など)についての説明を行います。後半の時間を使い、皆さんにリサーチを実践していただきます。発表・発言する機会を多く設けますので、皆さんの積極的な参加を期待しています。また、月に1回ほどのペースで学外へ出かけ、英語を活用した地域活動を行います。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① ガイダンス・イントロダクション ② 文学研究とは① ③ 研究トピック ④ トピックについての基礎知識① ⑤ トピックについての基礎知識② ⑥ 情報収集・文献検索① ⑦ 情報収集・文献検索② ⑧ 先行研究調査① ⑨ 先行研究調査② ⑩ 先行研究調査③ ⑪ 先行研究調査④ ⑫ 研究テーマ・アウトライン ⑬ 研究計画書の作成について ⑭ 研究計画発表① ⑮ 研究計画発表② 		
予復習等	<p>【予習】授業で指示された資料にあらかじめ目を通しておくこと</p> <p>【復習】授業で指示された課題を行い、次回の授業発言できるように準備すること</p>		
評価方法	授業姿勢（10%）、発表・授業課題など（50%）、研究計画書（40%）		
履修条件	「イギリス文学講読Ⅰ」「イギリス文学講読Ⅱ」を履修していることが望ましい。「イギリス文学史」を同時に履修することが望ましい。		
教科書	なし。プリントを配布する。		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	イギリス文学研究Ⅱ Seminar in British Literature Ⅱ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	卒業論文の完成を目指してリサーチを進めることによって、論理的思考力、課題解決能力の習得を目指します。イギリス文学・文化に関する学術論文を書くステップを踏んでいくことを通じて、社会に出て生きていく上で必須である、解決すべき問題点とその解決法を自分で見つけ、それを分かりやすく論理的に、説得力を持って相手に伝える力を習得します。		
授業概要	前期に決めた論文のテーマとアウトラインをもとに、論文の執筆を進めていきます。授業は、受講者による研究経過発表が主体となります。また、学術論文を書く上で知っておかなければならないことについての説明も行います。最終的に6, 0 0 0字程度(英語の場合は2, 5 0 0語程度)の卒業論文を完成させることを目標とします。また、卒業制作として、英語を活用した地域活動の成果をまとめます。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① ガイダンス・夏休みの成果報告 ② 注の付け方、引用の仕方について ③ 研究経過報告 ① ④ 研究経過報告 ② ⑤ 研究経過報告 ③ ⑥ 研究経過報告 ④ ⑦ 序論／結論の書き方 ⑧ 研究経過報告 ⑤ ⑨ 研究経過報告 ⑥ ⑩ 研究経過報告 ⑦ ⑪ 研究経過報告 ⑧ ⑫ 卒業論文書式の確認 ⑬ 論文添削指導① ⑭ 論文添削指導② ⑮ 卒業論文提出・まとめ 		
予復習等	【予習】卒業論文の執筆とそれに必要なリサーチを行うこと 【復習】発表後のコメント、助言を踏まえて論文の執筆を進めること		
評価方法	授業姿勢（10％）、発表・授業課題など（30％）、卒業論文（60％）		
履修条件	「イギリス文学研究Ⅰ」を履修済みであることが必要です。 「イギリス文化論」を合わせて受講することが望ましいです。		
教科書	なし。プリントを配布する。		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	英語学研究Ⅰ Seminar in English Linguistics Ⅰ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	梅澤 敏郎	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	学生は、英語学どの分野の内容についてでもよいので、卒業論文を書くことを到達目標とする。ただし、本年度の本ゼミでは、英語学研究のいくつかの中心的な柱のうち、英語史、学校文法、伝統文法、などに特化して、英語学概論の内容以上に深化・習熟することを目的とする。学生は、これらの学問分野のトピックを研究することにより、教師にはならなくとも、相手（生徒など）の間違いにゆとりを持って対処でき、柔軟で幅広い言語観を持てるようになり、専門的学問追究の面白味も体得できるようになる。外面史から英語を取り巻く文化史面を研究してもよい。		
授業概要	学生は、英文や日本語文で書かれた、英語史のいくつかの中心的項目に関する説明書を指名されて読解し説明する。教員は、英語の発音・読み方・文法・構文から指導し、内容についても細かく説明を行う。本ゼミでは、以下の項目について、学問の進展に触れ、議論する。学生は、英語学概論の内容から発展してきている学問分野の流れについていくために、初めのうちは、このような受身の学習姿勢を取るしかないが、次第に実力が付き興味が増してくると、自ら調べ、考え、発表できるようになってくる。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 英語学の研究意義 ③ 英語史の概説 ④ Introduction ⑤ インド・ヨーロッパ祖語 ⑥ Indo-European ⑦ 古英語の文献・特殊文字 ⑧ Britain Before the Coming of the Anglo-Saxons ⑨ 古英語の豊富な語尾変化（1） ⑩ The Coming of the Anglo-Saxons ⑪ 古英語の豊富な語尾変化（2） ⑫ Old English（1） ⑬ 北歐人（デー人）の侵入と英語 ⑭ Old English（2） ⑮ 「豊富な語尾変化」のまとめー総合的言語から分析的な言語へ ⑯ The Scandinavian Invasions 		
予復習等	【予習】次回の授業で進む予定の教科書の該当ページを事前に読み、まとめると共に、疑問点を出しておくこと。【復習】今回の授業で学習した教科書・ハンドアウト・ノートの該当ページを読み返し、内容をふり返ると共に、疑問点を質問できるようにしておくこと。		
評価方法	レポート30％、小テスト30％、授業参加姿勢（含、出席回数・・・欠席は5回以下が最低条件）40％。		
履修条件	本ゼミを選択する学生は英語学概論Ⅰ、後期には、英語学研究Ⅱ、英語学概論Ⅱも選択すること。		
教科書	『ファンダメンタル英語史』児馬修 ひつじ書房。		
参考書	ハンドアウト（プリント）配付の他、適宜指示する。『ファンダメンタル英語学』中島平三 ひつじ書房、		

科目名	英語学研究Ⅱ Seminar in English Linguistics Ⅱ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	梅澤 敏郎	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>学生は、英語学のどの分野の内容についてでもよいので、卒業論文を書くことを到達目標とする。ただし、本年度の本ゼミでは、英語学研究のいくつかの中心的な柱のうち、英語史、学校文法、伝統文法、などに特化して、英語学概論の内容以上に深化・習熟することを目的とする。学生は、これらの学問分野のトピックを研究することにより、教師にはならなくとも、相手（生徒など）の間違いにゆとりを持って対処でき、柔軟で幅広い言語観を持つようになり、専門的学問追究の面白味も体得できるようになる。外面史から英語を取り巻く文化史面を研究してもよい。</p>		
授業概要	<p>学生は、英文や日本語文で書かれた、英語史のいくつかの中心的項目に関する説明書を指名されて読解し説明する。教員は、英語の発音・読み方・文法・構文から指導し、内容についても細かく説明を行う。本ゼミでは、以下の項目について、学問の進展に触れ、議論する。学生は、英語学概論の内容から発展してきている学問分野の流れについていくために、初めのうちは、このような受身の学習姿勢を取るしかないが、次第に実力が付き興味が増してくると、自ら調べ、考え、発表できるようになってくる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ノルマン人の征服（1066年）と英語 ② The Norman Conquest ③ 多義の回避－語順変化（SOV>SVO） ④ Middle English ⑤ 語順変化と知覚－外置構文の歴史 ⑥ Early Modern English ⑦ 分極の仮説－規則と例外 ⑧ Modern English ⑨ 綴りと発音の不一致 ⑩ The Pronunciation of Old English, Middle English and Modern English ⑪ 名詞起源の非定形－不定詞と動名詞 ⑫ Summary of the History of the English Language ⑬ 異分析仮説 ⑭ End of Course Test（1） ⑮ 見逃しやすい「外」の環境－動名詞発達の起点 ⑯ End of Course Test（2） 		
予復習等	<p>【予習】 次回の授業で進む予定の教科書の該当ページを事前に読み、まとめると共に、疑問点を出しておくこと。【復習】 今回の授業で学習した教科書・ハンドアウト・ノートの該当ページを読み返し、内容を振り返ると共に、疑問点を質問できるようにしておくこと。</p>		
評価方法	卒業論文 85%、授業参加姿勢（含、出席回数・・・欠席は5回以下が最低条件） 15%。		
履修条件	前期に「英語学研究Ⅰ」を受講した学生に限る。本ゼミ選択学生は、後期には「英語学概論Ⅱ」を選択すること。		
教科書	『ファンダメンタル英語史』児馬修 ひつじ書房。		
参考書	ハンドアウト（プリント）配付の他、適宜指示する。『ファンダメンタル英語学』中島平三 ひつじ書房		

科目名	英語習得研究Ⅰ Seminar in English Language Acquisition Ⅰ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>英語教育学、第二言語習得研究やそれに関連する分野での諸議論を考察することをおとし、社会や自己への理解を深め、論理的・批判的に考える力や、意見の異なる他者と議論する力を身に付けることを目的とする。到達目標は、以下である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 必要な情報を収集したり取捨選択できる力をつける。 2) 問題を整理・分析する力をつける。 3) 問題を理論的・批判的に考え、他者と議論する力をつける。 4) 卒業論文の研究テーマを設定する。 		
授業概要	<p>ガイダンスでは、卒業論文作成の流れや文献収集方法の説明や推薦図書を紹介を行う。「専門文献の読解」では、各発表者が英語教育学・第二言語習得研究に関する文献読解をレビューし、全体で討議を行う。「文献研究」では、各自が興味のあるテーマに基づく文献のレビューを行い、全員で内容の討議を行う。卒業論文の構想発表では、みずからの力で設定した卒業論文の研究テーマを発表する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 専門文献の読解 1 ③ 専門文献の読解 2 ④ 専門文献の読解 3 ⑤ 専門文献の読解 4 ⑥ 専門文献の読解 5 ⑦ 文献研究 1 ⑧ 文献研究 2 ⑨ 文献研究 3 ⑩ 文献研究 4 ⑪ 文献研究 5 ⑫ 文献研究 6 ⑬ 文献研究 7 ⑭ 卒業論文の構想発表 1 ⑮ 卒業論文の構想発表 2 ⑯ 卒業論文の構想発表 3 		
予復習等	<ul style="list-style-type: none"> ・「専門文献の読解」、「文献研究」、「卒業論文の構想発表」で各1回発表を行う。 ・卒業論文のテーマを決めるために、各自で文献研究を行う。 		
評価方法	出席状況・授業態度 50%、発表等 50%		
履修条件	後期に「英語習得研究Ⅱ」を履修すること		
教科書	適宜資料を配布する		
参考書	ガイダンス時に推薦書のリストを提示する		

科目名	英語習得研究Ⅱ	単位数	2
	Seminar in English Language Acquisition II	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>英語教育学、第二言語習得研究やそれに関連する分野での諸議論を考察することをおし、社会や自己への理解を深め、論理的・批判的に考える力や、意見の異なる他者と議論する力を身に付けることを目的とする。到達目標は、以下である。</p> <p>1) 必要な情報を収集したり取捨選択できる力をつける。 2) 問題を整理・分析する力をつける。 3) 問題を理論的・批判的に考え、他者と議論する力をつける。 4) 前期、後期をとおして取り組んできたテーマをもとに、卒業論文を完成させる。</p>		
授業概要	<p>英語習得研究Ⅱ初回では、まず卒論の書き方についてガイダンスを行う。また受講生は、前期終了時に設定した各自のテーマによる研究構想をもとに、卒業論文の中間報告を行う。その後、各自が選んだ研究テーマと関連する文献をレビューし、参加者全員で内容や方法論について討議を行う。このような文献レビューや討議をとおし、卒業論文の書き方を学んでいく。平行して、卒業論文のための文献調査、データ収集・分析を行い、卒業論文の執筆にあたる。第12週目以降では、各自の論文内容を検討し、必要な修正を施し、論文を完成させる。最終回では、卒論発表会を行う。</p>		
授業計画	<p>① ガイダンス（論文の書き方） ② 文献研究 1 ③ 文献研究 2 ④ 文献研究 3 ⑤ 文献研究 4 ⑥ 文献研究 5 ⑦ 文献研究 6 ⑧ 文献研究 7 ⑨ 文献研究 8 ⑩ 論文作成指導 1 ⑪ 論文作成指導 2 ⑫ 論文作成指導 3 ⑬ 論文作成指導 4 ⑭ 論文作成指導 5 ⑮ 総括・卒業論文集の完成 ⑯ 卒業論文発表会</p>		
予復習等	<p>・「文献研究」で各2回、「論文作成指導」で1回の発表を行う。 ・卒業論文のテーマを決めるために、各自で文献研究を行う。</p>		
評価方法	出席状況・授業態度 35%、発表等 35%、卒業論文 30%		
履修条件	前期に「英語習得研究Ⅰ」を履修すること		
教科書	適宜資料を配布する		
参考書	ガイダンス時に推薦書のリストを提示する		

科目名	アメリカ社会研究Ⅰ	単位数	2
	Seminar in American Society and Politics I	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>One goal of this course is to give students some insights into American society today by studying various current issues and discussing how these issues affect the everyday life of Americans. Readings and discussions will focus on the historical background behind important issues, as well as how politics influences these issues. Each year, topics vary, depending on current events and the interests of students. Another goal of the course is to improve skills for collecting and using information in research essays. As all of the readings, writing, and discussions will be done only in English, students who take this seminar need to have an intermediate to high level of reading and writing skills.</p>		
授業概要	<p>The main theme of this course is about issues in American society today. In order to learn about these issues, students will read recent online articles about these issues that affect Americans. In order to gain a broader understanding about the current issues, students will also study related historical, cultural, and political topics. In addition to learning about American society, students will also practice research skills that are necessary for completing the graduation research report. Students will also be asked to present their original research during informal class discussions and short presentations.</p>		
授業計画	<p>① Course introduction [Spring vacation homework due] ② Issues in American society: Topic I (Part 1) ③ Issues in American society: Topic I (Part 2) ④ Student presentations ⑤ Writing workshop: Using outside sources (Part 1) ⑥ Issues in American society: Topic II (Part 1) ⑦ Issues in American society: Topic II (Part 2) ⑧ Student presentations ⑨ Student presentations ⑩ Writing workshop: Using outside sources (Part 2) ⑪ Issues in American society: Topic III (Part 1) ⑫ Issues in American society: Topic III (Part 2) ⑬ Writing workshop: Essay development ⑭ Writing workshop: Citing information ⑮ Writing conferences ⑯ First-semester report due</p>		
予復習等	<p>【予習】 Study the text before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.</p>		
評価方法	Participation (40%); Written assignments (30%); First-semester report (30%)		
履修条件	1年次に「アカデミック・イングリッシュⅠ・Ⅱ」を受講して、論文を書くのに十分な英作能力を持っていることが望ましい。		
教科書	適宜、プリント等の教材を配布する。		
参考書			

科目名	アメリカ社会研究Ⅱ	単位数	2
	Seminar in American Society and Politics II	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	Students will continue reading and writing about various current issues concerning U.S. society. One main topic will be used for reading, discussion, and writing. The aim is to read different sources of information about one topic and explore various sides of that topic. Students will begin doing their own research by gathering information about the topic and synthesizing the information. Through examples and practices, students will continue to improve skills for writing longer essays. These longer essays will be developed into their final report for the course. During the final part of the course, students will work independently to complete their final reports in English.		
授業概要	The main theme of this course is about issues in American society today. In order to learn about these issues, students will read recent online articles about these issues that affect Americans. In order to gain a broader understanding about the current issues, students will also study related historical, cultural, and political topics. In addition to learning about American society, students will also practice research skills that are necessary for completing the graduation research report. Students will also be asked to present their original research during informal class discussions and short presentations.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① Teacher-student writing conferences ② Issues in American society: Topic IV (Part 1) ③ Issues in American society: Topic IV (Part 2) ④ Issues in American society: Topic IV (Part 3) ⑤ Writing workshop: Report organization ⑥ Writing workshop: Topic selection & Thesis development ⑦ Student presentations ⑧ Essay 1 due / Teacher-student writing conferences ⑨ Teacher-student writing conferences ⑩ Teacher-student writing conferences ⑪ Essay 2 due / Teacher-student writing conferences ⑫ Teacher-student writing conferences ⑬ Teacher-student writing conferences ⑭ Essay 3 due / Teacher-student writing conferences ⑮ Teacher-student writing conferences ⑯ Graduation Research Report due 		
予復習等	<p>【予習】 Study the text before coming to class each week.</p> <p>【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.</p>		
評価方法	Participation (10%); Written assignments (20%); Graduation research report (70%)		
履修条件			
教科書	適宜、プリント等の教材を配布する。		
参考書			

科目名	ライティングⅠ	単位数	1
	English Composition I	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>(1) 英作文の基礎となる語彙・文法を、暗記ではなく「理解」し応用できるようにして、雰囲気ではなく「意識」して英語が書けるようになる。</p> <p>(2) 日本語的発想とは異なる「英語的発想」を生かすことにより、日本語にひきずられた英語らしからぬ英文という間違いをしないようになる。</p>		
授業概要	英作文の向上のため、英作文の基礎となる語彙・文法を、暗記ではなく「理解」して使えるように指導する。例えば「私は岐阜短の学生です」に対応する英語は、I am a student at [X of] Gifu City Women's College. であると単に暗記するのではなく、「なぜ」そうなるのかを考察してもらい「英語の仕組み」を探ってもらおう。暗記の英語から理解の英語へと橋渡しをすることで、英語の仕組みを駆使しながら、日本語的発想と異なる「英語的発想」で「意識的」に英作文ができるように指導する。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 時制と相の交差点1 ③ 時制と相の交差点2 ④ 可算名詞と不可算名詞 ⑤ 冠詞 ⑥ 準動詞の世界 ⑦ 助動詞 ⑧ 関係詞 ⑨ 仮定法 ⑩ 基本構文を使う ⑪ 豊かな構文の地平 ⑫ あいまいな前置詞の世界 ⑬ コロケーション ⑭ 英語らしさの探求 ⑮ 「らしさ」を生み出す表現 ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】 分からない所を明確にし質問ができるようにする。課題を解いておく。</p> <p>【復習】 質問などで理解したことをまとめ、予習した課題を自己添削する。</p> <p>・以上の過程を毎回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質問など)・レポート・小テスト)40%、定期試験60%		
履修条件	なし。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	『Thinking for Writing』/ 著: 町田章著 / 出版: 音羽書房鶴見書店		
参考書	真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		

科目名	ライティングⅡ English Composition Ⅱ	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>（1）英作文の基礎となる語彙・文法を、暗記ではなく「理解」し応用できるようにして、雰囲気ではなく「意識」して英語が書けるようになる。（2）日本語的発想とは異なる「英語的発想」を生かすことにより、日本語にひきずられた英語らしからぬ英文という間違いをしないようになる。</p>		
授業概要	<p>英作文の向上のため、英作文の基礎となる語彙・文法を、暗記ではなく「理解」して使えるように指導する。例えば「私は岐阜女の学生です」に対応する英語は、I am a student at [Xof] Gifu City Women's College.であると単に暗記するのではなく、「なぜ」そうなるのかを考察してもらい「英語の仕組み」を探ってもらおう。暗記の英語から理解の英語へと橋渡しをすることで、英語の仕組みを駆使しながら、日本語的発想と異なる「英語的発想」で「意識的」に英作文ができるように指導する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 時制と相の交差点1（応用） ③ 時制と相の交差点2（応用） ④ 可算名詞と不可算名詞（応用） ⑤ 冠詞（応用） ⑥ 準動詞の世界（応用） ⑦ 助動詞（応用） ⑧ 関係詞（応用） ⑨ 仮定法（応用） ⑩ 基本構文を使う（応用） ⑪ 豊かな構文の地平（応用） ⑫ あいまいな前置詞の世界（応用） ⑬ コロケーション（応用） ⑭ 英語らしさの探求（応用） ⑮ 「らしさ」を生み出す表現（応用） ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。課題を解いておく。 【復習】質問などで理解したことをまとめ、予習した課題を自己添削する。 ・以上の過程を毎回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質問など)・レポート・小テスト)40%、定期試験60%		
履修条件	なし。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	『Thinking for Writing』/ 著：町田章著 / 出版：音羽書房鶴見書店		
参考書	真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		

科目名	ライティングⅢ English Composition Ⅲ	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	梅澤 敏郎	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>この授業を履修することにより、学生は、日常生活で普通に出てくる内容を、分かりやすい英語で表現できるようになる。これが、学生のこの授業における到達目標である。このような表現力が付いてくることで、学生は、自己と世界に対して目を開き、国際的な場面や地域社会で活躍できるようになる第一歩を踏み出すことになる。それには、まず表現してみることも大切であるけれども、それほど難しくない英語の表現上の規則や構造にできる限り添うように、キチンとした英語を書くという教養を、この授業で身につけるという目的を持って臨むことが肝要である。</p>		
授業概要	<p>学生は、ともすれば生き生きとした英語表現を書くために、ルールを守らない表現法を用いてしまいがちになる。けれども、本授業は、あくまで大学で上記の目的・到達目標に向かって行われるものなので、学生は、日本語表現と英語表現の、語順や文法規則に習熟することに注意を払って取り組むことが大切である。語順や文法規則と言っても、それほど難しい内容ではなく言わばミニマムエッセンシャルズ（必要最低限事項）である。これに習熟するように、英語と日本語の構造に頻繁に触れながら、日常茶飯事を学生が英語で表現できるよう、教員は、易から徐々に難へと問題演習を添削指導を交えて行いながら、書く力を伸ばす指導を、毎回学生に指名しながら実施していく。本授業においては、以下の項目について、この記述のように演習していく。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 五つの基本文型を中心とした問題（1） ③ 五つの基本文型を中心とした問題（2） ④ 現在進行形・過去進行形表現 ⑤ 現在完了進行形・未来完了進行形表現 ⑥ 法助動詞を用いた文章 ⑦ 相助動詞と法助動詞が混在した文章 ⑧ 受動態表現（1） ⑨ 受動態表現（2） ⑩ 原級を用いた比較文 ⑪ 比較級を用いた比較文と最上級表現 ⑫ 現在完了形を用いた表現 ⑬ 過去完了形を用いた表現 ⑭ 発展問題と復習問題 ⑮ まとめ ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】前回の授業で指定した問題の該当ページを事前に読んでおき、解答を作っておくこと。 【復習】授業で学習した英語文をスムーズに書けるよう、理解に努め、暗唱し、覚えておくこと。 課題があったら行うこと。</p>		
評価方法	定期試験80%、授業態度20%。		
履修条件	なし。		
教科書	『Let's Write!』 Asahi Press		
参考書	初回の授業で指示する。		

科目名	ライティングIV English Composition IV	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	梅澤 敏郎	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	この授業を履修することにより、学生は、日常生活で普通に出てくる内容を、分かりやすい英語で表現できるようになる。これが、学生のこの授業における到達目標である。このような表現力が付いてくことで、学生は、自己と世界に対して目を開き、国際的な場面や地域社会で活躍できるようになる第一歩を踏み出すことになる。それには、まず表現してみることも大切であるけれども、それほど難しい英語の表現上の規則や構造にできる限り添うように、キチンとした英語を書くという教養を、この授業で身につけるという目的を持って臨むことが肝要である。		
授業概要	学生は、とすれば生き生きとした英語表現を書くために、ルールを守らない表現法を用いてしまいがちになる。けれども、本授業は、あくまで大学で上記の目的・到達目標に向かって行われるものなので、学生は、日本語表現と英語表現の、語順や文法規則に習熟することに注意を払って取り組むことが大切である。語順や文法規則と言っても、それほど難しい内容ではなく言わばミニマムエッセンシャルズ（必要最低限事項）である。これに習熟するように、英語と日本語の構造に頻繁に触れながら、日常茶飯事を学生が英語で表現できるよう、教員は、易から徐々に難へと問題演習を添削指導を交えて行いながら、書く力を伸ばす指導を、毎回学生に指名しながら実施していく。本授業においては、以下の項目について上記のように演習していく。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② To 不定詞を用いる表現（1） ③ To 不定詞を用いる表現（2） ④ 現在分詞と過去分詞表現（1） ⑤ 現在分詞と過去分詞表現（2） ⑥ 動名詞を用いる表現（1） ⑦ 動名詞を用いる表現（2） ⑧ 関係代名詞文（1） ⑨ 関係代名詞文（2） ⑩ 関係副詞の使い方（1） ⑪ 関係副詞の使い方（2） ⑫ 接続詞を用いた文章（1） ⑬ 接続詞を用いた文章（2） ⑭ 発展問題と復習問題 ⑮ まとめ ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】前回の授業で指定した問題の該当ページを事前に読んでおき、解答を作っておくこと。</p> <p>【復習】授業で学習した英語文をスムーズに書けるよう、理解に努め、暗唱し、覚えておくこと。課題があったら行うこと。</p>		
評価方法	定期試験80%、授業態度20%。		
履修条件	なし。		
教科書	『Let's Write!』 Asahi Press		
参考書	初回の授業で指示する。		

科目名	英文法 I English Grammar I	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	梅澤 敏郎	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	学生が、大学入学までに身に付けているべき英語の約束事、決まり（いわゆる、学校英文法）を、少しずつさらに完璧に近づけ、身に付けることを目的とする。学生が、英米及び英語圏の言語、文学、文化などを学ぶことを通して、自己と世界に対して目を開き、国際的な場面や地域社会で活躍できるようになるためには、英語を読み、書き、聞き、話す、4技能を向上させる必要がある。そのための実用科目として本授業が設定されているので、本授業では、特に文法面からその充実を図る。具体的には、TOEIC 530点、英検2級が到達目標である。		
授業概要	学生は、学校英文法の内容でも、忘却していたり、弱点であったり、理解・応用が苦手であったりする項目がある。従って、教員は、詳細な内容・学校英文法の枠を飛び越えた大学生的内容・簡潔に学生自身で学習した方が理解が促進される内容など、緩急をつけて授業を行う。本授業では、下記の文法項目についての問題演習を行い、考える力・分析力・応用力・問題解決力が身に付けられるように配慮する。学生は、問題英文の解答は勿論、その解答が選ばれる理由も考えさせられるような授業を受ける。学生が、各選択肢の意味、問題英文の意味なども考えられるように、教員は、学生を指名し演習を実施する。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 5文型 ③ 接続詞 ④ 関係詞（1） ⑤ 関係詞（2） ⑥ 語形（1） ⑦ 語形（2） ⑧ 前置詞（1） ⑨ 前置詞（2） ⑩ 副詞（1） ⑪ 副詞（2） ⑫ 比較（1） ⑬ 比較（2） ⑭ 復習テスト ⑮ まとめ ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】前回の授業で指定した問題の該当ページを事前に読んでおき、解答を作っておくこと。分からない単語は英和辞典で調べて、各問題英文の意味を書いてくること。間違っても構いません。分かりにくい箇所は質問できるようにしておくこと。【復習】授業で学習した英文の解答が、どうしてそのようになるのかよく考え、理解に努め、暗唱し、覚えておくこと。理解が難しければ、次回に質問できるように書きとめておくこと。</p>		
評価方法	定期試験80%、授業態度20%。		
履修条件	なし。		
教科書	ハンドアウト（プリント）を配付する。		
参考書	初回の授業で指示する。高校で使用した英文法の参考書や英和辞典などは捨ててしまわないこと。		

科目名	英文法Ⅱ	単位数	1
	English Grammar II	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	梅澤 敏郎	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>学生が、大学入学までに身に付けているべき英語の約束事、決まり（いわゆる、学校英文法）を、少しずつさらに完璧に近づけ、身に付けることを目的とする。学生が、英米及び英語圏の言語、文学、文化などを学ぶことを通して、自己と世界に対して目を開き、国際的な場面や地域社会で活躍できるようになるためには、英語を読み、書き、聞き、話す、4技能を向上させることが必要である。そのための実用科目として本授業が設定されているので、本授業では、特に文法面からその充実を図る。具体的には、TOEIC 530点、英検2級が到達目標である。</p>		
授業概要	<p>学生は、学校英文法の内容でも、忘却していたり、弱点であったり、理解・応用が苦手であったりする項目がある。従って、教員は、詳細な内容・学校英文法の枠を飛び越えた大学生的内容・簡潔に学生自身で学習した方が理解が促進される内容など、緩急をつけて授業を行う。本授業では、下記の文法項目についての問題演習を行い、考える力・分析力・応用力・問題解決力が身に付けられるように配慮する。学生は、問題英文の解答は勿論、その解答が選ばれる理由も考えさせられるような授業を受ける。学生が、各選択肢の意味、問題英文の意味なども考えられるように、教員は、学生を指名し演習を実施する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② 時制（1） ③ 時制（2） ④ 動詞の用法、不定詞、動名詞（1） ⑤ 動詞の用法、不定詞、動名詞（2） ⑥ 人称代名詞（1） ⑦ 人称代名詞（2） ⑧ 名詞、冠詞（1） ⑨ 名詞、冠詞（2） ⑩ 分詞（1） ⑪ 分詞（2） ⑫ 主語と動詞の一致、語順（1） ⑬ 主語と動詞の一致、語順（2） ⑭ 復習テスト ⑮ まとめ ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】前回の授業で指定した問題の該当ページを事前に読んでおき、解答を作っておくこと。分からない単語は英和辞典で調べて、各問題英文の意味を書いてくること。間違っても構いません。分かりにくい箇所は質問できるようにしておくこと。【復習】授業で学習した英文の解答が、どうしてそのようになるのかよく考え、理解に努め、暗唱し、覚えておくこと。理解が難しければ、次回に質問できるように書きとめておくこと。</p>		
評価方法	定期試験80%、授業態度20%。		
履修条件	なし。		
教科書	ハンドアウト（プリント）を配付する。		
参考書	初回の授業で指示する。高校で使用した英文法の参考書や英和辞典などは捨ててしまわないこと。		

科目名	オーラル・イングリッシュⅠ	単位数	1
	Oral English I	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>英語を使ったコミュニケーション能力を総合的に伸ばし、自ら調べたことや考えたことを英語で発表できる力を付けることを目的とする。到達目標は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 映画で使用される自然な英語を聞いて概ね理解ができる。 2) テーマと関連する基礎的な英文の読み物を読み、情報を得ることができる。 3) テキストの内容を分析し、分析に基づいて考えることができる。 4) 考えた内容を英語で表現することができる、の4点である。 		
授業概要	<p>CALL教室でビデオ・音声教材を使用し、アメリカ社会の現実を浮き彫りにした映画を題材に、アメリカ文化や社会事情の理解と実用的な英語表現の習得を図る。また、テーマに関して興味を持ったことを調べ、英語で発表を行う。アメリカの社会問題と日本社会を比較することで、アメリカ社会に対する理解を深めるとともに、自国の社会についても再認識し、自分で考えたことを英語で発表できる力を付ける。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス、英語で自己紹介 ② 英語で自己紹介（つづき） ③ Unit 2: You've Got M@il —Trend of Cyber love ④ Unit 2: レポート発表、関連するテキストの読解 ⑤ Unit 2: エッセイ・ライティングと意見交換 ⑥ Unit 5: Stepmom — Meeting a New Family ⑦ Unit 5: レポート発表、関連するテキストの読解 ⑧ Unit 5: エッセイ・ライティングと意見交換 ⑨ Unit 7: Working Girl—Women in Business ⑩ Unit 7: レポート発表、関連するテキストの読解 ⑪ Unit 7: エッセイ・ライティングと意見交換 ⑫ Unit 3: John Q.— Organ Transplant Today and Tomorrow ⑬ Unit 3: レポート発表、関連するテキストの読解 ⑭ Unit 3: エッセイ・ライティングと意見交換 ⑮ Review ⑯ 期末試験 		
予復習等	<p>【予習】各回のテーマについて、新聞・本などで調査する。レポートをまとめる。 【復習】リーディング、リスニング教材の復習、音読、シャドーイング</p>		
評価方法	出席状況・授業態度 20%、課題30%、小テスト20%、期末試験30%		
履修条件	学修規程による。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	『American Society in Focus』 Macmillan Languagehouse		
参考書	なし		

科目名	オーラル・イングリッシュⅡ Oral English Ⅱ	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	古東 佐知子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	実用的な英語運用能力を伸ばすための授業で、特に英語の「聞く力」「話す力」を重点的に伸ばすことを目標にする。映像や音声を使用することにより、実際に英語が使われている状況を理解すると共に、英語の自然な表現方法も身に付け、コミュニケーションの場で使用できるための英語力を伸ばす。		
授業概要	CALL教室において、英語の歌や、英語の映像を使用し、生きた英語を聞き取るリスニング力を向上させる。この授業では特に、Working in Japanというテキストを使用し、日本で働く様々な国の人達についての働く様子や英語のインタビューを聞くことで、英語のリスニング力を伸ばす。またクラスメートへのインタビューや、英語のスピーチ、英語の発音練習などのアクティビティを通じ英語のoutputもできるように練習する。毎回授業の初めに、5名程度の学生に、身近なテーマを題材に2～3分のスピーチと質疑応答（英語）を行ってもらう。授業は英語で行う。		
授業計画	① ガイダンス ② Unit 1. Sales Can Be Like Acting ③ Unit 1. Sharing Your Ideas: Being a Good Co-worker ④ Unit 2. Travel Opens Up the World ⑤ Unit 2. Sharing Your Ideas: Having Fun While Traveling ⑥ Unit 3. Love Sells Cars ⑦ Unit 3. Sharing Your Ideas: Staying Positive ⑧ Unit 4. Translating is More Than Words ⑨ Unit 4. Sharing Your Ideas: Learning Foreign Languages ⑩ Unit 5. Serve Up the Best Possible Service ⑪ Unit 5. Sharing Your Ideas: What Do You Love About Japan? ⑫ Unit 6. Teaching Is Helping Others Perform Their Best ⑬ Unit 6. Sharing Your Ideas: Teaching English to Children ⑭ Unit 7. Build a Happy Life! ⑮ Unit 7. Sharing Your Ideas: Finding the Best Job ⑯ 期末テスト		
予復習等	【予習】教科書の指定された箇所をあらかじめ読み、分からないことは調べておく。スピーチ担当の週は、スピーチの準備しておく。 【復習】教科書を中心に、知らなかった単語・表現を復習し、単語テストに備える。		
評価方法	期末試験 40%	スピーチ 30%	課題・授業参加 30%
履修条件	なし		
教科書	Alice Gordenker & John Rucynski, Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals, (センゲージラーニング株式会社)		
参考書	授業中に指定する。		

科目名	オーラル・イングリッシュⅢ Oral English Ⅲ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	古東 佐知子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	実用的な英語運用能力を伸ばすための授業で、特に英語の「聞く力」「話す力」を重点的に伸ばすことを目標にする。「オーラル・イングリッシュⅢ」では、より高度に英語を使いこなす能力を身に付けるため、英語のプレゼンテーションに挑戦する。またそのために必要な英語プレゼンの技術も身に付ける。		
授業概要	アメリカの主要都市・地域を映した映像をもとに、現地の人々のインタビュー、レポート、会話を通して加工されていないネイティブの英語を聞き取る力を身につける。また、アカデミックな環境において英語でコミュニケーションできる能力を向上させることも目指す。そのため毎回の授業でオーラル・プレゼンテーションの技術を習い、学期末には一人あたり5分程度のリサーチ・プレゼンテーション（英語）を行う。授業は基本的に英語で行う。		
授業計画	① Introduction ② Unit 1. New York I & Pronunciation Practice (1) ③ Unit 2. New York II & Pronunciation Practice (2) ④ Unit 3. Boston & Pronunciation Practice (3) ⑤ Unit 4. Small Towns & Pronunciation Practice (4) ⑥ Unit 5. Yellowstone & Presentation Skills (1) ⑦ Unit 6. Las Vegas & Presentation Skills (2) ⑧ Unit 7. Los Angeles & Presentation Skills (3) ⑨ Unit 8. Seattle & Presentation Skills (4) ⑩ Unit 9. Maui & Presentation Skills (5) ⑪ Unit 10. Street Performers & Presentation Skills (6) ⑫ Preparations for the Presentation ⑬ Presentation Day (1) ⑭ Presentation Day (2) ⑮ Review ⑯ Final Exam 期末試験		
予復習等	【予習】教科書の指定された箇所をあらかじめ読み、分からないことは調べておく。 【復習】教科書を中心に、知らなかった単語・表現を復習し、単語テストに備える。最終プレゼンのために、事前の準備を綿密に行う。		
評価方法	英語プレゼン 40%	期末試験 30%	授業参加 30%
履修条件	なし		
教科書	American Vibes: People, Places and Perspectives映像で学ぶアメリカの素顔：都市・人々・視点		
参考書	授業中に指定する		

科目名	オーラル・イングリッシュⅣ Oral English Ⅳ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	古東 佐知子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	英語のコミュニケーション能力「聞く力」「話す力」に重点を置いた授業だが、特に上級レベルであるこの授業は、高度な内容も英語で話すことができ、議論できるようになるための力を身に付ける。そのために、英語のプレゼン映像やニュースを視聴し、さらに、英語のディスカッションや討論のアクティビティーをグループで準備し行う。論理的に秩序立てて話すことが出来る、知的な英語力を身に付ける。		
授業概要	この授業では、毎回ニュース映像などを視聴し、英語のコミュニケーション力にとどまらず、実際の英語運用に必要な知識・問題意識も身に付ける。また、英語のプレゼン、ディベート、スピーチなどの活動を通し、社会で実際に起こっている事象について、自らの英語で意見を発信する力を養う。英語のニュースや、公開されているプレゼンを視聴することによって、論理立てて英語で話すことの重要性を学ぶ。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① Introduction ② Unit 1. Education and Gender ③ Finding Your Favorite Ted Talks ④ Unit 2. Global Warming ⑤ Group Discussion in English ⑥ Unit 3. Drinking Water ⑦ Explaining English Daily News ⑧ Unit 4. Internment: Japanese Camps in the North America ⑨ Panel Discussions in English ⑩ Unit 5. Atomic Bomb ⑪ Unit 6. Nelson Mandela ⑫ Preparation for the Presentation ⑬ English Presentation Day ⑭ English Presentation Day ⑮ Review ⑯ Final Exama 期末試験 		
予復習等	<p>【予習】教科書の指定された箇所の問題を解いておく。 プレゼンやディスカッション、発表に備え準備する。</p> <p>【復習】教科書の内容を中心に復習し、分からない単語をおぼえ単語テストに備える。</p>		
評価方法	英語プレゼン 40% 期末試験 30% 授業参加 30%		
履修条件	なし		
教科書	『Global Issues Toward Peace DVDで学ぶ共存社会ーグローバル時代を考える』（南雲堂）		
参考書	授業中に指定する。		

科目名	リーディングⅠ English Reading Ⅰ	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	「英文を速く、正確に読む」という力を身につけることを目標とします。英文を読むスピードについては、1分あたり150～200 wordsのスピードで読むことができるようになることを目標とします。精度を上げるために必要な語彙力を身につけていきます。これらの目標に到達することにより、それほど難しい英文であれば、速く、正確に読む力を身につけます。		
授業概要	この授業では、英文を読み終えるのにかかった時間や1分あたりに読むことのできるスピードを強く意識しながら速読の訓練を行います。基本的には教科書を中心に授業を進めていきますが、少し難しめの英文を扱った他の教材も使いながら、英文読解力の向上に有益な活動を行っていきます。また、授業外の課題として、多読を課します。前期中に100、000 wordsを目標に多読図書を読んでいきます。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② Unit 1 ③ Unit 2 ④ Unit 3 ⑤ Unit 4 ⑥ Unit 5 / Unit 1-4 語彙テスト ⑦ Unit 6 ⑧ Unit 7 ⑨ Unit 8 ⑩ Unit 9 / Unit 5-8 語彙テスト ⑪ Unit 10 ⑫ Unit 11 ⑬ Unit 12 ⑭ Mini-Test / Unit 9-12 語彙テスト ⑮ 総合演習・（語彙復習テスト） ⑯ 期末試験 		
予復習等	<p>【予習】Section A各Unitの1 Word Studyをやっておくこと</p> <p>【復習】各Unitの2-C, 2-Dを行うこと／各Unitに出てきた語彙で、意味などを知らなかったものを覚えておくこと。</p>		
評価方法	授業姿勢（10%）、語彙テスト（20%）、多読課題（10%）、期末試験（60%）		
履修条件	なし。		
教科書	『Practical Reading Skills for the TOEIC Test』／著：是近成子、上仲律子／出版：成美堂		
参考書	なし。		

科目名	リーディングⅡ English Reading Ⅱ	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	中級レベル（～TOEIC500程度）の英文読解能力の養成を目指す。様々なジャンル、パターンの英文に応じて英文を読む際に注意すべき点を確認し、実際の読解の際に役立つテクニック、スキルを習得していく。合わせて読解力の養成に必要な語彙を身につけることも目指し、総合的な英文読解能力の向上を到達目標とする。		
授業概要	中級レベルの英文読解能力を習得するための授業である。毎回の授業ではテキストのユニットを1つずつ進めていく。予習を前提としているので、受講者は各回の授業で扱うユニットの文章を読み、テキストの課題を解いておくことが求められる。合わせて少し複雑な構造の英文を正確に読むための訓練も行う。また、授業外の課題として、多読を課します。前期中に100,000wordsを目標に多読図書を読んでいきます。		
授業計画	① ガイダンス ② Unit 1 ③ Unit 2 ④ Unit 3 ⑤ Unit 4 ⑥ Unit 5 ⑦ Unit 6 ⑧ Unit 7 ⑨ Unit 8 ⑩ Unit 9 ⑪ Unit 10 ⑫ Unit 11 ⑬ Unit 12 ⑭ Unit 13 ⑮ Unit 14 ⑯ 期末試験		
予復習等	【予習】各Unitの英文を読み、問題を解いてくること 【復習】（1）授業で扱ったUnitに出てきた語彙を確認すること （2）授業で扱ったUnitの本文をもう一度、すらすら読めるようになるまで読むこと		
評価方法	授業姿勢（20%）、多読課題（10%）、期末試験（70%）		
履修条件	なし。		
教科書	『Reading Stream: Intermediate』金星堂／著：竹内理／出版：金星堂		
参考書	なし。		

科目名	リーディングⅢ English Reading Ⅲ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	中・上級レベル（TOEIC500程度～）の英文読解能力の養成を目指します。少し難易度の高い文章を読むことを通じて、複雑な文の構造を把握し、意味を正確に読み取れるようになることを目的とします。また、レベルの高い英文読解力の養成に必要な語彙の習得を通じて、総合的な英語力の向上も目指していきます。		
授業概要	中・上級レベルの英文読解能力の習得を目的とする授業です。政治や歴史など大きなテーマから、ごく日常的な話題に至るまで、様々な話題を扱った少し難易度の高い文章を読み進めていきます。また、様々な文章を読むことを通じて、これからの時代を生きていくために必要な幅広い視点を養うことも目指していきます。授業では3回につき1つずつLessonを丁寧に読み進めていきます。読む英文の難易度がかなり高いので、解説に時間をかけながら進めていきます。また、授業外の課題として、多読を課します。前期中に100,000wordsを目標に多読図書を読んでいきます。		
授業計画	① ガイダンス ② Lesson 2 ① ③ Lesson 2 ② ④ Lesson 2 ③ ⑤ Lesson 3 ① ⑥ Lesson 3 ② ⑦ Lesson 3 ③ ⑧ Lesson 4 ① ⑨ Lesson 4 ② ⑩ Lesson 4 ③ ⑪ Lesson 5 ① ⑫ Lesson 5 ② ⑬ Lesson 5 ③ ⑭ Lesson 6 ① ⑮ Lesson 6 ② ⑯ 期末試験		
予復習等	【予習】各回の授業で指定された課題を行ってくること 【復習】（1）授業で扱ったLessonに出てきた語彙で知らなかったものを確認すること／（2）授業で扱ったLessonの本文をもう一度、すらすら読めるようになるまで読むこと		
評価方法	授業姿勢（20%）、多読課題（10%）、期末試験（70%）		
履修条件	なし。		
教科書	『A World of Ideas: Active Reading for Global Awareness』／著：Jim Knudsen他／出版：南雲堂		
参考書	なし。		

科目名	リーディングⅣ English Reading Ⅳ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	「英文を正確に読む力」を養成することを目的とする。単語の意味を感覚で適当につなぎ合わせて、文意を推測することだけが読むことだと思い込んでいる人がたくさんいる。正確に読むためには、文中の語の品詞や文法関係を正確に分析し、語と語の組み合わせ方を学ぶ必要がある。語法（語の働き）と文法（語と語の組み合わせ方）を基礎として、正確に読めることを目標とする。		
授業概要	<p>（1）読解の基礎となる語彙・文法を、暗記ではなく理解して使えるように指導する。例えば、「私は岐阜市立女子短期大学の学生です」に対応する英語は、I am a student at [×of] GCWC.であるという語彙の知識(文法の知識でもある)を単に暗記するのではなく、なぜそうなるのかを考察してもらい、語彙・文法を無味乾燥な規則の寄せ集めとしてではなく、英語という言葉の体系性を反映するものとして、応用が利くよう合理的に指導する。</p> <p>（2）「読む・書く・聴く・話す」の4技能をバランスよく総合的に力をつけることを目的とする。</p> <p>（3）TOEIC・TOEFL・英検等の資格試験の得点向上を目的とする。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業概要の説明と評価について:イントロダクション ② 読解 1 ③ 読解 2 ④ 読解 3 ⑤ 読解 4 ⑥ 読解 5 ⑦ 読解 6 ⑧ 読解 7 ⑨ 読解 8 ⑩ 読解 9 ⑪ 読解 1 0 ⑫ 読解 1 1 ⑬ 読解 1 2 ⑭ 読解 1 3 ⑮ まとめ ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。課題を解いておく。</p> <p>【復習】質問などで理解したことをまとめ、予習した課題を自己添削する。</p> <p>・以上の過程を毎回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質問など)・レポート・小テスト)40%、定期試験60%		
履修条件	真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	『The old men and the sea 老人と海』/ 著:Ernest Hemingway 編中:林原耕三 / 出版:南雲堂』		
参考書	授業中に適時指示する。		

科目名	英会話A I English Conversation A I	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	This class will help students improve their English conversation skills. Clear training in how to speak English like a native speaker will be given. The aim is to help students understand the differences between Japanese and Western cultural speaking styles in order to communicate more effectively. With this knowledge, students will be able to use simple expressions to speak like native speakers of English.		
授業概要	Students will spend much time in class learning vocabulary and speaking with classmates about everyday life topics. Vocabulary quizzes will be given at the end of each unit. By the end of the course, if students work hard, they will be able to speak English more fluently, accurately, and with more complexity than they could at the beginning of the year.		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① Orientations / Introduction to conversation strategies ② Unit 1 (Part 1): Getting acquainted ③ Unit 1 (Part 2): Majors, school years, and clubs ④ Unit 1 (Part 3): Golden Rule #1 / Part-time jobs ⑤ Unit 1 Review / Golden Rule #2 / Quiz ⑥ Unit 2 (Part 1): Daily routines ⑦ Unit 2 (Part 2): Hardest / easiest days of the week ⑧ Unit 2 (Part 3): Daily activities / Golden Rule #3 ⑨ Quiz / Speaking Test #1 ⑩ Unit 3 (Part 1): Hometown attractions ⑪ Unit 3 (Part 2): Hometown likes & dislikes ⑫ Unit 3 (Part 3): Where to live in the future ⑬ Quiz / Unit 4 (Part 1): Travel experiences ⑭ Unit 4 (Part 2): Future travel ideas ⑮ Unit 4 (Part 3): Planning a trip ⑯ Quiz / Speaking Test #2 		
予復習等	<p>【予習】 Study the textbook before coming to class each week.</p> <p>【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.</p>		
評価方法	Participation (20%); Vocabulary quizzes & homework (30%); Speaking tests (50%)		
履修条件			
教科書	Conversations in Class (3E). Jerry Talandis Jr. and Bruno Vannieu. Alma Publishing, Kyoto. 2015.		
参考書			

科目名	英会話AII	単位数	1
	English Conversation AII	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	This class will help students improve their English conversation skills. Clear training in how to speak English like a native speaker will be given. The aim is to help students understand the differences between Japanese and Western cultural speaking styles in order to communicate more effectively. With this knowledge, students will be able to use simple expressions to speak like native speakers of English.		
授業概要	Students will spend much time in class learning vocabulary and speaking with classmates about everyday life topics. Vocabulary quizzes will be given at the end of each unit. By the end of the course, if students work hard, they will be able to speak English more fluently, accurately, and with more complexity than they could at the beginning of the year.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① Orientation / Review of units 1-4 ② Unit 5 (Part 1): Talking about breaks ③ Unit 5 (Part 2): Free time activities ④ Unit 5 (Part 3): Current & future hobbies ⑤ Quiz / Unit 6 (Part 1): Music ⑥ Unit 6 (Part 2): Movies ⑦ Unit 6 (Part 3): TV, reading and games ⑧ Quiz / Speaking Test #3 ⑨ Unit 7 (Part 1): Recent meals ⑩ Unit 7 (Part 2): Food likes & dislikes ⑪ Unit 7 (Part 3): Exotic foods & eating out ⑫ Quiz / Unit 8 (Part 1): Five years later ⑬ Unit 8 (Part 2): Discussing life issues ⑭ Unit 8 (Part 3): Dream jobs ⑮ Quiz / Review of units 5-8 ⑯ Speaking Test #4 		
予復習等	<p>【予習】 Study the textbook before coming to class each week.</p> <p>【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.</p>		
評価方法	Participation (20%); Vocabulary quizzes & homework (30%); Speaking tests (50%)		
履修条件	「英会話AI」を受講をすること。		
教科書	Conversations in Class (3E). Jerry Talandis Jr. and Bruno Vannieu. Alma Publishing, Kyoto. 2015.		
参考書	http://www.cic-multimedia.com/		

科目名	英会話B I	単位数	1
	English Conversation B I	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	杉浦 エレナ	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	The objectives of this course are for students to develop practical communication skills for everyday English conversations. To this end the course will focus on building up confidence in English abilities through scaffolded listening and speaking activities. Students will also learn about American and British customs and culture in order to introduce a more international outlook.		
授業概要	<p>【担当者の実務経験:日本の文化になじみのない英会話教師をサポートしてきた職務経験を活用し、コミュニケーションをとる中で日本と外国の文化的なギャップへの実際の経験に基づく対処法を身につけます。】</p> <p>The course will review speaking activities familiar to the students such as introductions, family life and hobbies before introducing more challenging communication activities such as asking for information, telling a story and discussing problems.</p>		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① Orientation. Introduction and ice breaker activities. ② Class album. Simple information exchange. Polite and impolite questions. ③ Favorite photos. Describing family and friends. Asking follow up questions ④ Personal goals. Describing future goals. Asking for advice. ⑤ Believe it or not. Telling a story. Reacting with interest. ⑥ Where I grew up. Using the past tense and `used to` to talk about childhoods. ⑦ Bargain shopper. Shopping expressions and bargaining for goods. ⑧ Review and mid term speaking assessment. ⑨ The perfect gift. Japanese, American and UK gift giving customs. ⑩ Party planner. Holidays in Japan, the US and the UK. Invitations. ⑪ Music profile. Likes, dislikes and genres of music. Reported speech. ⑫ Style makeover. Describing appearance and clothing. Giving advice. ⑬ Honesty. Telling stories. Asking hypothetical questions. ⑭ Making things better. School problems. Using `too many` and `(not) enough`. ⑮ Review and speaking assessment. ⑯ End of term examination. 		
予復習等	<p>【予習】 Weekly vocabulary lists.</p> <p>【復習】 Mid term and end of term speaking assessments.</p>		
評価方法	Mid term speaking assessment 20%. End of term speaking assessment 20%. Participation 10%. End of term examination 50%.		
履修条件			
教科書	Active Skills for Communication Book 1. HEINLE CENGAGE learning. Sandy, Kelly.		
参考書			

科目名	英会話B II English Conversation B II	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	杉浦 エレナ	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	The objectives of this course are for students to further develop practical communication skills for everyday English conversations. The course will build on foundation speaking and listening skills learned in the first semester. Students will also learn more about American and British customs and culture and be encouraged to ask more questions about their interests in other countries.		
授業概要	【担当者の実務経験：日本の文化になじみのない英会話教師をサポートしてきた職務経験を活用し、コミュニケーションをとる中で日本と外国の文化的なギャップへの実際の経験に基づく対処法を身につけます。】 The students should by now be able to speak about familiar topics and the second semester course will expect students to give longer answers, be able to keep a conversation going and show enthusiastic listening skills. The course will focus on building on discussion skills and giving and reacting to opinions.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① Orientation. Review and icebreaker activities. ② Class Facebook. Making small talk. Backchanneling. ③ Personal motto. English proverbs. Expressing opinions. ④ Tall tales. Tell short stories with sequencers. Refer back to events in a story. ⑤ Keepsakes. Show and tell. Using past tense and present perfect tense. ⑥ Speaking assessment 1, keepsakes individual presentation. ⑦ Team spirit. Making suggestions. Agreeing and disagreeing. ⑧ Hot spots. Making recommendations. Responding to suggestions. ⑨ Class cookbook. Describing foods and giving cooking instructions. ⑩ Business venture. Brainstorm and describe a new business. Present ideas. ⑪ Job interview. Describing job requirements. Interview/ee role plays. ⑫ TV preview. Create and act out a dramatic scene. ⑬ Public opinion. Create and discuss dilemmas and hypothetical situations. ⑭ Mini debate. Plan and defend an argument. Hold mini debates. ⑮ Review. Speaking assessment 2. ⑯ End of term examination. 		
予復習等	【予習】 Weekly vocabulary lists. 【復習】 Speaking assessment 1 and 2.		
評価方法	Week 5 speaking assessment 1, 20%. Week 15 speaking assessment 2, 20%. Participation, 10% End of term examination, 50%.		
履修条件			
教科書	Active Skills for Communication Book 2. HEINLE CENGAGE learning. Sandy, Kelly.		
参考書			

科目名	英会話AIII English Conversation AIII	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	The goal of this class is to help students become better at speaking English naturally. Increasing knowledge of vocabulary and grammar as it is used in spoken English is necessary for improving overall English ability, but in order to make use of that knowledge, regular speaking practice is necessary. In this class, students will increase both their knowledge of English and their ability to use it in conversation.		
授業概要	Students will increase their ability to use English through weekly conversation practice in pairs and small groups. Students will continue to review and practice conversation skills that they learned in English Conversation AI & II. At all times, the focus of the course will be on speaking, so students are expected to come to class each week ready to communicate in English with their teacher and classmates in English.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① Course orientation / First year review ② Unit 1: What kind of person are you? ③ Unit 1: How have you changed? ④ Unit 2: Getting around ⑤ Unit 2: Indirect questions ⑥ Quiz / Unit 4: Unusual experiences ⑦ Unit 4: Your best dish ⑧ Speaking Test #1 ⑨ Unit 5: Vacation plans ⑩ Unit 5: Travel advice ⑪ Unit 6: Household chores ⑫ Unit 6: Making requests ⑬ Unit 8: Celebrations ⑭ Unit 8: Marriage customs ⑮ Quiz / Review ⑯ Speaking Test #2 		
予復習等	【予習】 Study the textbook before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.		
評価方法	Participation (20%); Vocabulary quizzes & homework (30%); Speaking tests (50%)		
履修条件	「英会話A II」を受講をすること。		
教科書	Interchange 2 (5E). Jack C. Richards, Jonathan Hull, and Susan Proctor. Cambridge. 2017.		
参考書			

科目名	英会話AIV	単位数	1
	English Conversation AIV	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	The goal of this class is to help students become better at speaking English naturally. Increasing knowledge of vocabulary and grammar as it is used in spoken English is necessary for improving overall English ability, but in order to make use of that knowledge, regular speaking practice is necessary. In this class, students will increase both their knowledge of English and their ability to use it in conversation.		
授業概要	Students will increase their ability to use English through weekly conversation practice in pairs and small groups. Students will continue to review and practice conversation skills that they learned in English Conversation AI & II. At all times, the focus of the course will be on speaking, so students are expected to come to class each week ready to communicate in English with their teacher and classmates in English.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① First semester review ② Unit 10: Expressing preferences ③ Unit 10: Finding the right job ④ Unit 11: Remarkable places ⑤ Unit 11: Guess the country ⑥ Quiz / Unit 12: Unexpected happenings ⑦ Unit 12: What would you do? ⑧ Speaking Test #3 ⑨ Unit 13: Favorite actors ⑩ Unit 13: Favorite movies ⑪ Unit 15: I Need Your Advice ⑫ Unit 15: What would you have done? ⑬ Unit 16: Making excuses ⑭ Unit 16: What's Your Reason? ⑮ Quiz / Review ⑯ Speaking Test #4 		
予復習等	【予習】 Study the textbook before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.		
評価方法	Participation (20%); Vocabulary quizzes & homework (30%); Speaking tests (50%)		
履修条件	「英会話AⅢ」を受講をすること。		
教科書	Interchange 2 (5E). Jack C. Richards, Jonathan Hull, and Susan Proctor. Cambridge.2017.		
参考書			

科目名	英会話BIII	単位数	1
	English Conversation BIII	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	杉浦 エレナ	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	The objective of this course is to introduce critical thinking and encourage students to express opinions about real-world topics.		
授業概要	【担当者の実務経験：日本の文化になじみのない英会話教師をサポートしてきた職務経験を活用し、コミュニケーションをとる中で日本と外国の文化的なギャップへの実際の経験に基づく対処法を身につけます。】 In this course students will have the opportunity to listen to authentic recordings. To aid understanding, listening task vocabulary will be pre- taught and the same vocabulary used in speaking activities designed for pair, group and class work. Real world topics will include: skills needed for a variety of jobs, successful study habits and negotiating for goods.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① Orientation. Introduction and ice breaker activities. ② Work: Listening 1. Make and confirm predictions. ③ Work: listening 2. Compare and contrast ideas. ④ Work: Speaking. Answer questions about jobs, interests and skills. ⑤ Student Life: Listening 1. Learn to make inferences. ⑥ Student Life: Listening 2. Listen to and discuss good and bad study habits. ⑦ Student Life: Speaking. Make a class survey and report the results. ⑧ Review. Mid term speaking assessment. ⑨ Money: Listening 1. Learn about the history of money. ⑩ Money: Listening 2. Listen to and discuss the City Barter Network. ⑪ Money: Speaking. Discuss freecycling and negotiate to exchange unwanted items. ⑫ Etiquette: Listening 1. Introducing the topic of good and bad manners. ⑬ Etiquette: Listening 2. Discussing why there is a lack of good manners. ⑭ Etiquette: Speaking. Discussing etiquette in different situations. ⑮ Review. End of term speaking assessment. ⑯ End of term examination. 		
予復習等	【予習】 Weekly vocabulary lists. 【復習】 Mid term and end of term review speaking assessments.		
評価方法	Mid term speaking assessment, 20%. End of term speaking assessment, 20%. Participation, 10% End of term examination, 50%.		
履修条件			
教科書	North Star 2. Listening and speaking. Pearson. Mills, Frazier (fourth edition).		
参考書			

科目名	英会話BIV	単位数	1
	English Conversation BIV	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	杉浦 エレナ	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	The objective of this course is to further develop critical thinking skills and language to express opinions about real-world topics.		
授業概要	【担当者の実務経験：日本の文化になじみのない英会話教師をサポートしてきた職務経験を活用し、コミュニケーションをとる中で日本と外国の文化的なギャップへの実際の経験に基づく対処法を身につけます。】 In this course students will have the opportunity to listen to authentic recordings. To aid understanding, listening task vocabulary will be pre-taught and the same vocabulary used in speaking activities designed for pair, group and class work. Real world topics will include: increasing obesity levels, examples of everyday heroism and endangered languages.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① Orientation. Review of semester one skills such as making inferences. ② Food: Listening 1. Healthy and unhealthy eating habits. ③ Food: Listening 2. Government policies to reduce obesity. ④ Food: Speaking. Debate about healthy eating and government control. ⑤ Speaking Assessment 1. Pair presentation on obesity ⑥ Heroes: Listening 1. Examples of heroes. ⑦ Heroes: Listening 2. Altruism. ⑧ Heroes: Speaking. Presentation about someone you admire. ⑨ Health: Listening 1. Diabetes. Video games. ⑩ Health: Listening 2. Technology in the classroom. ⑪ Health: Speaking. Advice about health problems. ⑫ Endangered Cultures: Listening 1. Disappearing languages. ⑬ Endangered Cultures: Listening 2. Saving languages and cultures. ⑭ Endangered Cultures: Speaking. Discuss how English threatens endangered languages. ⑮ End of term review. Speaking assessment 2. ⑯ End of term examination. 		
予復習等	【予習】 Weekly vocabulary lists. 【復習】 Speaking assesment 1 and 2.		
評価方法	Week 5 speaking assessment 1, 20%. End of term speaking assessment 2, 20%. Participation, 10%. End of term examination, 50%.		
履修条件			
教科書	North Star 2. Listening and speaking. Pearson. Mills, Frazier (fourth edition).		
参考書			

科目名	海外英語演習	単位数	2
	Study Abroad Program	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1・2年全期）	科目区分	演習
担当者	梅澤 敏郎	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	学生は、長年英語を、読む・書く・聞く・話す、という4技能に習熟するために勉強してきている。本授業では、その4技能に対し、実際にアメリカ合衆国でナマの英語や文化に触れる体験をして刺激を得、発奮材料とし、今後の自己の生き方と世界観の育成に資することを目的とする。アメリカの大学で行われる一連の授業活動や見学、ホームステイに積極的に参加し、コミュニケーション力を向上させ、国際化する地域社会や世界で、自立・協調して生きていくための基本的力を身につけることが到達目標である。		
授業概要	アメリカ西海岸カリフォルニア州ロングビーチ市にある、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校で8月下旬から9月中旬の2週間にわたって開講される。受講者で、所定の基準を満たし、同大学の2単位を取得した者は、本科目2単位を取得することができる。授業では、実用英語を中心に、アメリカ史など英語文化の背景も学び、見学として、アナハイム市のディズニelandをはじめ、名所・旧跡を訪れる。ホームステイも体験する。実際のアメリカの大学の講義を理解できるようになり、現地の人々と日米・岐阜についても、風俗・習慣など文化に関して、コミュニケーションを取りながら活動するので、受講生には好評を博している。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① イントロダクション・夏季海外英語演習の目的と意義 ② 業者を交えてのオリエンテーション・研修の内容・海外旅行の具体的手続き ③ 現地の様子・実際の注意など ④ カリフォルニア州立大学ロングビーチ校による具体的スケジュール表の配布・説明 ⑤ 以下、現地校におけるスケジュールに従い諸活動を行う ⑥ 英語クラス（1） ⑦ 英語クラス（2） ⑧ 大学内の日本語クラスに合流・英語クラス（3） ⑨ 英語クラス（4） ⑩ 現地学生へのインタビュー・英語クラス（5） ⑪ 現地の学校を訪問。英語クラス（6） ⑫ 英語クラス（7） ⑬ 英語クラス（8） ⑭ ディズニelandなど見学 ⑮ まとめ・試験・フェアウェル ⑯ 課題レポート 		
予復習等	【予習】 次回のオリエンテーションや授業で行う範囲を予め学習しておくこと。 【復習】 今回のオリエンテーションや授業で行ったことのノートなどに目を通し、課題を行うこと。		
評価方法	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校の評価基準に準拠する。		
履修条件	初回のオリエンテーションで指示する。		
教科書	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校指定教科書。		
参考書	オリエンテーションで指示する。		

科目名	ビジネス・イングリッシュ Business English	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	佐々木 真帆美	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	<p>学生が卒業して就職してから、ビジネスの場でつかいこなすことができる英語力を身につけることを目標とする。ビジネスの場で使用されるボキャブラリの習得、会話の練習、英語のメール・手紙等の書き方に関する演習、日米ビジネス文化における理解等を通して総合的な英語力の向上を目指す。また、様々なシチュエーションにおける英語の対話を聞き読解することで、生きた英語を習得することを目指す。</p>		
授業概要	<p>【担当者の実務経験：一般企業にて貿易業務に従事した経験あり。】 国際化が進む現代社会において、ビジネスの場で英語を使用する機会が多くなってきている。本授業では、様々なビジネスのシチュエーションにおいて使用されるボキャブラリや英語表現、ビジネス文書等の書き方、日米ビジネス文化等を学ぶことによって、就職後英語で業務にあたることが求められた際にスムーズに仕事ができるよう、基本的なビジネス英語の習得を目的とする。ほかに、ビジネス用語が頻出するとされるTOEICの練習にも随時取り組む。通常の予習・復習に加え、課題を3回提出すること。課題は、授業を通して学んだビジネス文書の形式を使って実際に文書を書いてみたり、企業ホームページから必要な情報を読み取るものとなるため、より実践的な英語力を習得する機会と考え、積極的に取り組むこと。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① インTRODakション ② Chapter 1、2 ③ Chapter 3、4 ④ Chapter 5、6 ⑤ TOEIC練習問題（1） ⑥ Chapter 7、8 ⑦ Chapter 9、10 ⑧ Chapter 11、12 ⑨ TOEIC練習問題（2） ⑩ Chapter 13、14 ⑪ Chapter 15、16 ⑫ Chapter 17、18 ⑬ Chapter 19、20 ⑭ Chapter 21、22 ⑮ Chapter 23、24 ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】 次回の授業範囲を予習し、問題に解答しておくこと。 【復習】 小テストに備え、授業内容を復習しておくこと。</p>		
評価方法	出席／受講態度／小テスト20％、課題30％、定期試験50％		
履修条件	なし。		
教科書	『Getting Global!』／著：辻本智子／出版：金星堂		
参考書	なし。随時プリントを配布する。		

科目名	タッチタイピング演習 English and Information Processing I	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>パソコンの画面や原稿を見、キーボードは見ないでタイピングする方法をタッチタイピング法という。本演習では、タッチタイピング法に習熟するための系統的な訓練を行い、正確かつ迅速なタイピング技術を身につけるとともに、ワープロソフトの効率的な利用法を学ぶことで、コンピュータ活用能力全般の向上を目的とする。具体的目標としては、7月に実施されるパソコン英文スピード認定試験2級(日本情報処理検定協会)の合格を目指し、タッチタイピングの訓練を行う。可能であれば、準1級、1級の合格を目指す。</p>		
授業概要	<p>【担当者の実務経験：国家公務員として、経理や人事業務や通訳・翻訳の経験あり】 授業計画の「タッチタイピングの基礎練習」1～6では、パソコンの初歩的な操作を学ぶとともに、タッチタイピング法に習熟するための系統的な訓練を行う。「模擬試験・文書作成」1～7では、パソコン英文スピード認定試験2級合格に必要な技能を学ぶとともに、同認定試験の模擬問題演習や文書作成演習を行う。15週目には、授業内でパソコン英文スピード認定試験(日本情報処理検定協会)を受検し、2級以上の合格を目指す。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス ② タッチタイピングの基礎練習 1 ③ タッチタイピングの基礎練習 2 ④ タッチタイピングの基礎練習 3 ⑤ タッチタイピングの基礎練習 4 ⑥ タッチタイピングの基礎練習 5 ⑦ タッチタイピングの基礎練習 6 ⑧ 模擬問題演習・文書作成 1 ⑨ 模擬問題演習・文書作成 2 ⑩ 模擬問題演習・文書作成 3 ⑪ 模擬問題演習・文書作成 4 ⑫ 模擬問題演習・文書作成 5 ⑬ 模擬問題演習・文書作成 6 ⑭ 模擬問題演習・文書作成 7 ⑮ パソコン英文スピード認定試験 ⑯ 期末試験 		
予復習等	授業で行った演習問題を完成させる。課題を完成させ、提出する。		
評価方法	出席状況・授業態度 20％、課題 20％、期末試験30％、検定試験の結果30％		
履修条件	学修規程による。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	『パソコンスピード認定試験 模擬問題集 英文編』日本情報処理検定協会		
参考書	なし		

科目名	英語情報教育演習 English and Information Processing II	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	本演習では、ワープロソフト（MS-Word）と表計算ソフト（MS-Excel）の基本操作に習熟し、それらの効率的な利用法を学ぶとともに、コンピュータ活用能力全般の向上を目的とする。具体的には、日本情報処理検定協会の実施する情報処理技能検定試験表計算部門2級、日本語ワープロ検定2級に合格することを目標とする。可能であれば、準1級や1級にも合格できる力をつける。		
授業概要	【担当者の実務経験：国家公務員として、経理や人事業務の経験あり】 授業計画の「MS-Excelを用いたデータ処理演習1」では、情報処理技能検定試験表計算部門2級合格に必要な技能を学ぶ。「同演習2」では、同準1級や1級合格に必要な技能を学ぶ。「情報処理技能検定（表計算）模擬問題」1と2では、2級の演習問題を行い、3～5ではそれぞれの受検級にそった演習を行う。同様に、「Ms-Wordを用いた文書作成演習1」では、日本語ワープロ検定2級合格に必要な技能を学ぶ。「同演習2」では、同準1級や1級合格に必要な技能を学ぶ。「日本語ワープロ検定模擬問題」1と2では、2級の演習問題を行い、3と4ではそれぞれの受検級にそった演習を行う。		
授業計画	① ガイダンス ② MS-Excelを用いたデータ処理演習 1 ③ 情報処理技能検定（表計算）模擬問題 1 ④ 情報処理技能検定（表計算）模擬問題 2 ⑤ Ms-Excelを用いたデータ処理演習 2 ⑥ 情報処理技能検定（表計算）模擬問題 3 ⑦ 情報処理技能検定（表計算）模擬問題 4 ⑧ 情報処理技能検定（表計算）模擬問題 5 ⑨ 表計算検定試験 ⑩ Ms-Wordを用いた文書作成演習 1 ⑪ 日本語ワープロ検定模擬問題 1 ⑫ 日本語ワープロ検定模擬問題 2 ⑬ Ms-Wordを用いた文書作成演習 2 ⑭ 日本語ワープロ検定模擬問題 3 ⑮ 日本語ワープロ検定模擬問題 4 ⑯ 日本語ワープロ検定試験		
予復習等	授業で行った演習問題を完成させる。課題を完成させ、提出する。		
評価方法	出席状況・授業態度 20%、課題 20%、検定試験の結果60%		
履修条件	学修規程による。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	『日本語ワープロ検定試験模擬問題集 2級・準2級編』『情報処理技能検定試験 表計算模擬問題集 2級編』日本情報処理検定協会		
参考書	なし		

科目名	英語論文演習 Academic Writing	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	(1) 英語でレポート・論文を書けるようになる。 (2) 論文・レポートで評価される2つの大きな要素、調査力と思考力を鍛える。 (3) 英語論文を読解したり執筆したりする際に、どの学術分野の研究者でも必ず知っておかなければならない英語論文基礎表現・語彙を駆使できるようになる。		
授業概要	(1) 英語でレポート・論文を書くために、トピックの選び方から、図書館・ウェブでのリサーチの仕方、文章構成のテクニック、正しい引用の作法、書式の整え方、文献一覧作成まで、指導する。また、英語論文基礎表現・語彙も理解し駆使できるように指導する。 (2) これらの基本的な知識を実際に体得するように、実際に演習（文献読解・論文作成）を行う。まず、いくつかの基本的な文献を精読することで論文の書き方を学び活用できるようにし、自ら英語アカデミック・ライティングの基礎に基づいて論文・レポートを作成できるように指導する。		
授業計画	① ガイダンス ② アカデミック・ライティングの文化 ③ リサーチ・ペーパーの流れ ④ リサーチ・ペーパーの構成 ⑤ 主題文とアウトライン ⑥ パラグラフ・ライティングとは ⑦ 論の順序やつながりを示す表現 ⑧ 論文中で避けるべき表現 ⑨ イタリックと引用符の使い方 ⑩ 直接引用と間接引用 ⑪ 引用時によく使う動詞や表現 ⑫ 直接引用のパターン ⑬ 間接引用・パラフレーズとサマリー ⑭ 文章中の引用文献の示し方 ⑮ 引用文献リストの作り方 ⑯ 定期試験		
予復習等	【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。課題を解いておく。 【復習】質問などで理解したことをまとめ、予習した課題を自己添削する。 ・以上の過程を毎回レポートで提出すること。		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質問など)・レポート・小テスト)40%、定期試験60%		
履修条件	なし。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	『英語アカデミック・ライティングの基礎』/ 編著：一橋大学英語科/ 出版：研究社		
参考書	授業の中で指定する。		

科目名	インターネット・イングリッシュ Internet English	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	インターネットの利用を通して、メディア・リテラシーの基礎力を養成することを目的とする。到達目標は、以下である。1) インターネットを通して生きた英語に触れ、聴解や読解できる力を身に付ける、2) 現代的な社会問題について必要な情報を収集し、得られた情報を適切に整理・分析できる、3) 2で整理・分析した情報をもとに、考察したことを英語で効果的に発表することができる。		
授業概要	料理、音楽、映画などのテーマについて、インターネット上のテキストや動画等を英語で理解する。与えられたテーマに沿って必要な情報をインターネット上で収集し、まとめたことや考えたことに基づき、ペアや小グループ内でディスカッションやプレゼンテーションを行う。また、インターネットを利用したエッセイ・ライティングの手法を学び、エッセイを書いて発表するなど、能動的な参加が求められる。加えて、授業外多読課題を課す。受講生は、読書レポートをブログ上に投稿する。		
授業計画	① ガイダンス、Search Engine の活用方法 ② Cooking ③ Music ④ Museums ⑤ Famous People ⑥ Movies 1 ⑦ Movies 2 ⑧ World Heritage ⑨ Web news ⑩ Machine translation 1 ⑪ Machine translation 2 ⑫ Food Safety ⑬ Capitalism ⑭ Internet and privacy ⑮ Review ⑯ 期末課題の発表・提出		
予復習等	【予習】プレゼンテーション課題の準備、多読課題 【復習】授業で扱った教材の復習		
評価方法	出席状況・授業態度 35%、課題 50%、期末課題15%		
履修条件	CALL教室の定員を超える場合は、抽選を行う。私語は厳禁とする。		
教科書	適宜プリントを配布する		
参考書	なし		

科目名	検定英語演習 I Skills for English Proficiency Exams I	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	佐々木 真帆美	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	学生が英検で出題される問題と同じ形式の問題を解くことによって、準1級に合格できる程度の英語力を身につけることを目標とする。英検の筆記試験の問題を解くことを通して、より高度なボキャブラリを習得するとともに英語の「読む力」の向上、授業内でリスニング問題に取り組むことによって「聞く力」の向上、また、ライティング課題に取り組むことによって「書く力」「話す力」の向上を目指す。		
授業概要	総合的な英語力を向上させる方法はいろいろあるが、英語の資格・検定試験において、具体的な目標を設定して勉強することも1つの方法となる。本授業では、「実用英語技能検定（通称：英検）」で出題される問題と同形式の問題を解くことを通して、学生自身の新たな目標を設定させ、総合的な英語力を向上させることを目標とする。英検で使用されるボキャブラリは、日常会話では頻出しないものもあるので、より高度なボキャブラリを学習することができる。授業内では、文法問題、読解問題を通して今までに習得した文法事項の確認をし、2回に1度授業内実施するリスニング問題を通して英語を聞く力を養う。また、通常の予習・復習に加え、2回ライティング課題を提出すること。ライティング課題を、今までに習得したボキャブラリ、文法を使う機会として活用するとともに、自分の考えを英語で表現する機会と考え、積極的に取り組むこと。		
授業計画	① イントロダクション ② Chapter 1 ③ Chapter 2 ④ Chapter 3 ⑤ Chapter 4 ⑥ Chapter 5 ⑦ Chapter 6 ⑧ Chapter 7 ⑨ Chapter 8 ⑩ Chapter 9 ⑪ Chapter 10 ⑫ Chapter 11 ⑬ Chapter 12 ⑭ Chapter 13 ⑮ Chapter 14 ⑯ 定期試験		
予復習等	【予習】 次回の授業範囲を予習し、問題に解答しておくこと。 【復習】 次回の小テストに備えて、授業内容を復習しておくこと。		
評価方法	出席/受講態度/小テスト30%、課題20%、定期試験50%		
履修条件	なし。		
教科書	『大学生の英検対策総合演習（2級・準1級編）』／著：John Josephほか／出版：金星堂		
参考書	なし。		

科目名	検定英語演習Ⅱ	単位数	1
	Skills for English Proficiency Exams Ⅱ	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	TOEIC 550点突破に必要な英語力や攻略法を身につけることを目的とする。リスニングでは、ナチュラルスピードの会話に慣れ、必要な情報を聞き取り、TOEICリスニング・パートで230点達成を目指す。リーディングでは、テキストから必要な情報をすばやく読み取る力をつけるとともに、出題頻度の高い語句・表現や、基本的な文法もしっかりと身につけ、TOEICリーディング・パートで220点達成を目標とする。		
授業概要	【担当者の 実務経験： 国家公務員として、経理や人事業務や通訳・翻訳の経験あり】 授業では、毎回日常的なテーマを基にリスニング、リーディングの演習を行い、基礎的な英語力の向上を図るとともに、TOEIC各パートの攻略法を身につける。授業は予習を前提として進めるため、受講生はテキストや配布プリントの指定された箇所を予習の上で授業に臨むこと。その他、英語音声学の理論に基づいた発音練習を行う。英語と日本語の違いを理解し、英語の文強勢やイントネーションにも重点を置いて、発話練習を行う。		
授業計画	① Unit 1: Restaurant ② Unit 2: Entertainment ③ Unit 3: Business ④ Unit 4: Office ⑤ Unit 5: Telephone ⑥ Unit 6: Letter & E-mail ⑦ Unit 7: Health ⑧ 中間試験 ⑨ Unit 8: Bank & Post Office ⑩ Unit 9: New Products ⑪ Unit 10: Travel 1 ⑫ Unit 11: Travel 2 ⑬ Unit 12: Job Applications ⑭ Unit 13: Shopping ⑮ Unit 14: Education ⑯ 期末試験		
予復習等	【予習】各ユニットや配布プリントのリーディングや語彙問題 【復習】テキストや配布プリント全般。中間テストと期末テストを行う。		
評価方法	出席状況・授業態度 30%、中間試験25%、期末試験25%、TOEIC(College TOEICまたは公開TOEIC)のスコア 20%		
履修条件	学修規程による。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST (SEIBIDO)		
参考書	なし		

科目名	インターンシップ [英文]	単位数	1
	Internship	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年全期）	科目区分	集中
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	インターンシップ先での就業体験をとおして、将来具体的に企業で働くことについて考え、職業意識の高揚を図る。また企業研修の経験をとおり、社会で必要とされる能力について考え、研修後の学習意欲の向上に結びつける。研修中は研修日誌を記録し、修了後は最終の研修レポートを作成し、研修を通して学んだことを報告する。		
授業概要	岐阜グランドホテルで、一定期間企業研修を受ける。研修を受けることによって社会に出るための具体的な就業イメージ描くとともに、希望する職業とのマッチングなど、就職することへの意識を高めることを目的とする。事前研修では、インターンシップ派遣学生としての心構えを身につけ、研修後は研修レポートを作成する。なお、本科目に合格すれば1単位を修得することになるが、この単位は卒業単位に算入されないので注意すること。		
授業計画	① インターンシップ事前指導（1） ② インターンシップ事前指導（2） ③ 研修先での事前指導 ④ 企業における研修（1） ⑤ 企業における研修（2） ⑥ 企業における研修（3） ⑦ 企業における研修（4） ⑧ 企業における研修（5） ⑨ 研修レポートの作成		
予復習等	【予習】担当教員や研修先と連絡をとり、研修に備える。 【復習】研修のレポート、ノートを毎回記録すること。		
評価方法	インターンシップ事前指導での取り組み、研修レポートを総合的に判断する。		
履修条件	進路として就職を希望していることが望ましい。		
教科書	なし		
参考書	なし		